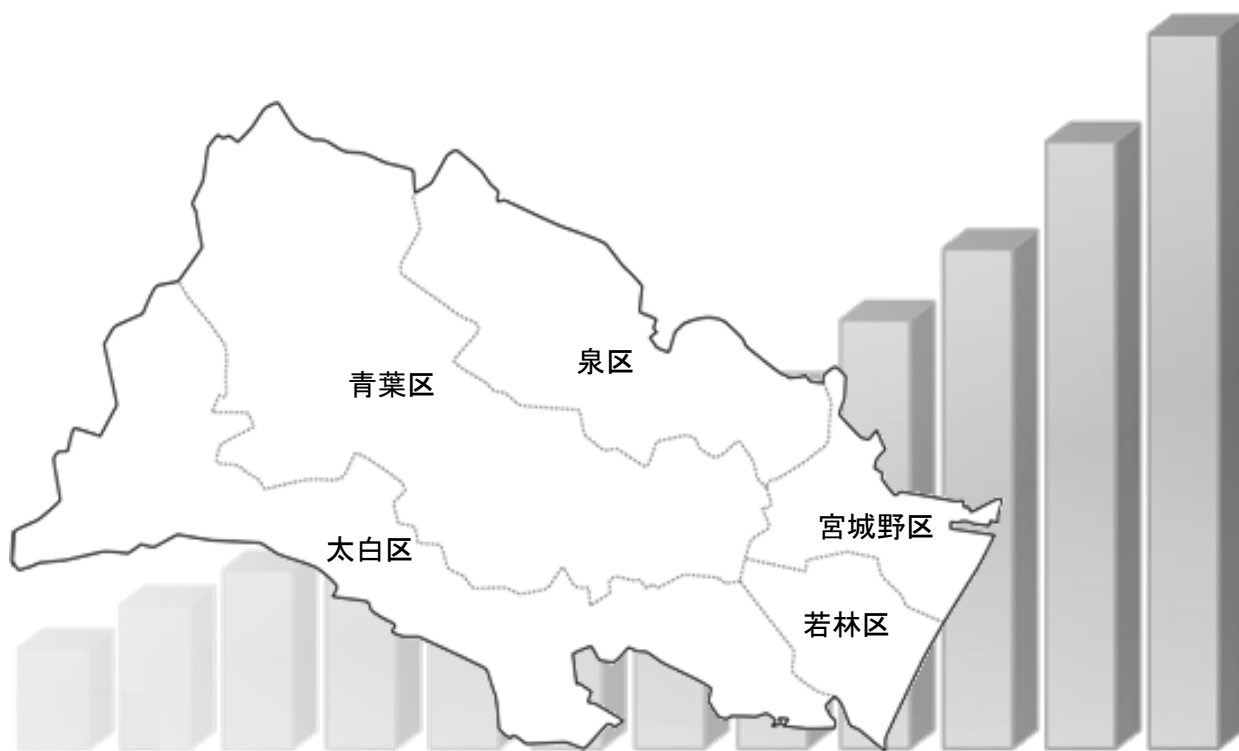


# 統計時報

2016. 12

特集：平成27年国勢調査  
—人口等基本集計結果—



仙台市市民局生活安全安心部広聴統計課

# 目 次

利用にあたって .....	1
平成27年国勢調査の概要 .....	2
用語の解説 .....	4
結果の概要	
1. 人口 .....	10
2. 年齢別人口 .....	11
3. 配偶関係別人口 .....	13
4. 外国人人口 .....	16
5. 世帯の状況 .....	17
6. 住居の状況 .....	23
7. 区別の状況 .....	25
8. 主要指標における宮城県及び全国との比較 .....	30
9. 主要指標における他の大都市との比較 .....	31
統計表 .....	35

## 利用にあたって

- この特集は、平成27年国勢調査結果（総務省統計局）のうち、人口等基本集計結果の仙台市分をとりまとめたものです。人口等基本集計は、人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯等に関する結果を全国、都道府県、市区町村別に集計するものです。
- 昭和60年以前の数値は合併以前の旧仙台市、旧泉市、旧宮城町、旧秋保町の数値を足し、合併後の市域に組み替えたものです。平成17年以降の数値については、特にことわりがない限り、調査当時の数値となっています。
- 数字の単位未満については、四捨五入、あるいは切捨てである箇所もあり、総数と内訳の計が一致しない場合もあります。
- 割合は、特に注記のない限り、分母から不詳を除いて算出しています。
- 表中の符号は次のとおりです。
  - 「－」…該当数字なし
  - 「△」…減少
- 本特集には、ページの都合上、掲載されていない統計表があります。本特集に掲載されていない表については、ホームページ「政府統計の総合窓口 e-stat」(<http://www.e-stat.go.jp/>)をご参照ください。

# 平成 27 年国勢調査の概要

## 1 調査の目的

国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としています。

## 2 調査の時期

平成 27 年国勢調査は、平成 27 年 10 月 1 日午前零時現在によって行われました。

## 3 調査の根拠法令

平成 27 年国勢調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 5 条第 2 項の規定に基づき、同法に定める「基幹統計調査」（国勢統計を作成するための調査）として実施されました。

また、国勢調査の実施に関する具体的な事項は、統計法の下に定める、国勢調査令（昭和 55 年政令第 98 号）、国勢調査施行規則（昭和 55 年総理府令第 21 号）及び国勢調査の調査区の設定の基準等に関する省令（昭和 59 年総理府令第 24 号）に基づいています。

## 4 調査の地域

平成 27 年国勢調査は、我が国の地域のうち、国勢調査施行規則第 1 条に規定する次の島を除く地域において行われました。

- (1) 歯舞群島，色丹島，国後島及び択捉島
- (2) 島根県隠岐郡隠岐の島町にある竹島

## 5 調査の対象

平成 27 年国勢調査は、調査時において、本邦内に常住している者について行われました。ここで「常住している者」とは、当該住居に 3 か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3 か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在いた場所に「常住している者」とみなしました。

ただし、次の者については、それぞれ次に述べる場所に「常住している者」とみなしてその場所で調査しました。

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する学校、同法第 124 条に規定する専修学校、同法第 134 条第 1 項に規定する各種学校又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成 18 年法律第 77 号）第 2 条第 7 項に規定する幼保連携型認定こども園に在学している者で、通学のために寄宿舍、下宿その他これらに類する宿泊施設に宿泊している者は、その宿泊している施設
- (2) 病院又は診療所（患者を入院させるための施設を有するものに限る。）に引き続き 3 か月以上入院し、又は入所している者はその入院先、それ以外の者は 3 か月以上入院の見込みの有無に関わらず自宅
- (3) 船舶（自衛隊の使用する船舶を除く。）に乗り組んでいる者で陸上に生活の本拠を有する者はその生活の本拠、陸上に生活の本拠の無い者はその船舶  
なお、後者の場合は、日本の船舶のみを調査の対象とし、調査時に本邦の港に停泊している船舶のほか、調査時前に本邦の港を出港し、途中外国の港に寄港せず調査時後 5 日以内に本邦の港に入港した船舶について調査しました。
- (4) 自衛隊の営舎内又は自衛隊の使用する船舶内の居住者は、その営舎又は当該船舶が籍を置く

地方総監部（基地隊に配属されている船舶については、その基地隊本部）の所在する場所  
(5) 刑務所，少年刑務所又は拘置所に収容されている者のうち死刑の確定した者及び受刑者並びに少年院又は婦人補導院の在院者は，その刑務所，少年刑務所，拘置所，少年院又は婦人補導院

本邦内に常住している者は，外国人を含めてすべて調査の対象としましたが，次の者は調査から除外しました。

- (1) 外国政府の外交使節団・領事機関の構成員（随員を含む。）及びその家族
- (2) 外国軍隊の軍人・軍属及びその家族

## 6 調査事項

平成 27 年国勢調査では，次に掲げる 17 項目について調査しました。

（世帯員に関する事項）

- ①氏名，②男女の別，③出生の年月，④世帯主との続き柄，⑤配偶の関係，⑥国籍，⑦現住居における居住期間，⑧5年前の住居の所在地，⑨就業状態，⑩所属の事業所の名称及び事業の種類，⑪仕事の種類，⑫従業上の地位，⑬従業地又は通学地

（世帯に関する事項）

- ①世帯の種類，②世帯員の数，③住居の種類，④住宅の建て方

## 7 調査の方法

平成 27 年国勢調査は，総務省統計局－都道府県－市町村－国勢調査指導員－国勢調査員の流れにより行いました。

調査は，調査員又は調査員事務を受託した事業者（以下「調査員等」という。）が，下記の方法により行いました。

- (1) 調査員等は，担当する地域の全ての世帯にインターネット回答の利用案内を配布します。世帯は，9月10日～20日の期間にインターネット回答を行います。
- (2) その後，調査員等はインターネット回答のなかった世帯に調査票等を配布します。世帯は，記入した調査票をそのまま調査員等に提出するか，又は郵送により提出することにより回答を行います。

ただし，世帯員の不在等の事由により，前述の方法による調査ができなかった世帯については，調査員等が，当該世帯について「氏名」，「男女の別」及び「世帯員の数」の3項目に限って，その近隣の者に質問することにより調査しました。

# 用語の解説

## 1 人口

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは平成27年10月1日午前零時（以下「調査時」という。）に調査の地域に常住している者をいいます。

「常住している者」については、「平成27年国勢調査の概要」の「5 調査の対象」を参照してください。

## 2 年齢

「年齢」は、平成27年9月30日現在による満年齢です。

なお、平成27年10月1日午前零時に生まれた人は、0歳としています。

## 3 平均年齢

「平均年齢」は、以下のとおり算出しています。

$$\text{平均年齢} = \frac{\text{年齢（各歳）} \times \text{各歳別人口}}{\text{各歳別人口の合計（年齢「不詳」を除く。）}} + 0.5$$

### 平均年齢に0.5を加える理由

国勢調査では、9月30日現在の満年齢（誕生日を迎えるごとに1歳を加える年齢の数え方）を用いて集計しています。

つまり、9月30日現在でX歳と0日の人も、X歳と364日の人も同じX歳として集計しています。

そこで、平均年齢を算出する際、X歳と0日から364日までの人がいることを考慮し、平均である半年分（0.5歳）を加えているものです。

## 4 年齢中位数

「年齢中位数」とは、人口を年齢順に並べたとき、その中央で人口を2等分する境界点にある年齢のことをいいます。

## 5 配偶関係

「配偶関係」は、届出の有無にかかわらず、実際の状態により、次のとおり区分しています。

区 分	内 容
未婚	まだ結婚したことのない者
有配偶	届出の有無に関係なく、妻又は夫のある者
死別	妻又は夫と死別して独身の者
離別	妻又は夫と離別して独身の者
配偶関係「不詳」	未回答などにより配偶関係が判断できない場合

## 6 国籍

平成27年国勢調査では、国籍を「日本」のほか、外国人について、「韓国、朝鮮」、「中国」、「フィリピン」、「タイ」、「インドネシア」、「ベトナム」、「インド」、「イギリス」、「アメリカ」、「ブラジル」、「ペルー」、「その他」に区分しています。

## 7 世帯の種類

世帯を次のとおり「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分しています。

区 分	内 容
一般世帯	(1) 住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者 ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含める。 (2) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者 (3) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者
施設等の世帯	
寮・寄宿舍の学生・生徒	学校の寮・寄宿舍で起居を共にし、通学している学生・生徒の集まり (世帯の単位：棟ごと)
病院・療養所の入院者	病院・療養所などに、既に3か月以上入院している入院患者の集まり (世帯の単位：棟ごと)
社会施設の入所者	老人ホーム、児童保護施設などの入所者の集まり (世帯の単位：棟ごと)
自衛隊営舎内居住者	自衛隊の営舎又は艦船内の居住者の集まり (世帯の単位：中隊又は艦船ごと)
矯正施設の入所者	刑務所及び拘置所の被収容者並びに少年院及び婦人補導院の在院者の集まり (世帯の単位：建物ごと)
その他	定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠（住所）を有しない船舶乗組員など (世帯の単位：一人一人)

## 8 世帯主・世帯人員

### (1) 世帯主

国勢調査における世帯主とは、収入の多少、住民基本台帳の届出等に関係なく、各世帯の判断によっています。

### (2) 世帯人員

世帯を構成する各人（世帯員）を合わせた数をいいます。

## 9 世帯の家族類型

「世帯の家族類型」は、一般世帯を、その世帯員の世帯主との続き柄により、次のとおり区分した分類をいいます。

区 分	内 容
親族のみの世帯	二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のみからなる世帯
非親族を含む世帯	二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にない人がいる世帯
単独世帯	世帯人員が一人の世帯
世帯の家族類型「不詳」	世帯の家族類型が判定できない世帯

また、親族のみの世帯については、その親族の中で原則として最も若い世代の夫婦とその他の親族世帯員との関係によって、次のとおり区分しています。

区 分	
1	核家族世帯
	(1) 夫婦のみの世帯
	(2) 夫婦と子供から成る世帯
	(3) 男親と子供から成る世帯
	(4) 女親と子供から成る世帯
2	核家族以外の世帯
	(5) 夫婦と両親から成る世帯
	① 夫婦と夫の親から成る世帯
	② 夫婦と妻の親から成る世帯
	(6) 夫婦とひとり親から成る世帯
	① 夫婦と夫の親から成る世帯
	② 夫婦と妻の親から成る世帯
	(7) 夫婦、子供と両親から成る世帯
	① 夫婦、子供と夫の親から成る世帯
	② 夫婦、子供と妻の親から成る世帯
	(8) 夫婦、子供とひとり親から成る世帯
	① 夫婦、子供と夫の親から成る世帯
	② 夫婦、子供と妻の親から成る世帯
	(9) 夫婦と他の親族（親、子供を含まない）から成る世帯
	(10) 夫婦、子供と他の親族（子供を含まない）から成る世帯
	(11) 夫婦、親と他の親族（子供を含まない）から成る世帯
	① 夫婦、夫の親と他の親族から成る世帯
	② 夫婦、妻の親と他の親族から成る世帯
	(12) 夫婦、子供、親と他の親族から成る世帯
	① 夫婦、子供、夫の親と他の親族から成る世帯
	② 夫婦、子供、妻の親と他の親族から成る世帯
	(13) 兄弟姉妹のみから成る世帯
	(14) 他に分類されない世帯



## 10 3世代世帯

「3世代世帯」とは、世帯主との続き柄が、祖父母、世帯主の父母（又は世帯主の配偶者の父母）、世帯主（又は世帯主の配偶者）、子（又は子の配偶者）及び孫の直系世代のうち、三つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯をいい、それ以外の世帯員がいるか否かは問いません。

したがって、4世代以上が住んでいる場合も含まれます。また、世帯主の父母、世帯主、孫のように、子（中間の世代）がいない場合も含まれます。一方、叔父、世帯主、子のように、傍系となる3世代世帯は含まれません。

## 11 外国人のいる世帯の家族類型

外国人のいる世帯を、次のとおり区分しています。

区 分	
外国人のみ	
外国人と日本人がいる世帯	
	日本人の親族がいる世帯
	外国人の親族がいる世帯
	外国人の親族がいない世帯
	日本人の親族がいない世帯
	親族の状況「不詳」
外国人のいる世帯の類型「不詳」	

## 12 母子世帯・父子世帯

### (1) 母子世帯

未婚、死別又は離別の女親と、その未婚の20歳未満の子供のみから成る一般世帯をいいます。

### (2) 父子世帯

未婚、死別又は離別の男親と、その未婚の20歳未満の子供のみから成る一般世帯をいいます。

### (3) 母（父）子世帯（他の世帯員がいる世帯を含む）

「母子世帯」及び「父子世帯」に、未婚、死別又は離別の女（男）親と、その未婚の20歳未満の子供及び他の世帯員（20歳以上の子供を除く。）から成る一般世帯を含めた世帯をいいます。

## 13 高齢単身世帯・高齢夫婦世帯

### (1) 高齢単身世帯

65歳以上の人一人のみの一般世帯をいいます。

### (2) 高齢夫婦世帯

夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯をいいます。

#### 14 住居の種類

一般世帯について、住居を次のとおり区分しています。

区 分	内 容
住宅	一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる建物（完全に区画された建物の一部を含みます。） 一戸建ての住宅はもちろん、アパート、長屋などのように独立して家庭生活を営むことができるような構造になっている場合は、区画ごとに1戸の住宅となります。
住宅以外	寄宿舍・寮など生計を共にしない単身者の集まりを居住させるための建物や、病院・学校・旅館・会社・工場・事務所などの居住用でない建物 なお、仮小屋など臨時応急的に造られた住居などもこれに含まれます。
住居の種類「不詳」	未回答などにより住居の種類が判定できない場合

#### 15 住宅の所有の関係

住宅に居住する一般世帯について、住宅の所有の関係を次のとおり区分しています。

区 分	内 容
主世帯	「間借り」以外の次の5区分に居住する世帯
持ち家	居住する住宅がその世帯の所有である場合 なお、所有する住宅は登記の有無を問わず、また、分割払いの分譲住宅などで支払が完了していない場合も含まれます。
公営の借家	その世帯の借りている住宅が、都道府県営又は市（区）町村営の賃貸住宅やアパートであって、かつ給与住宅でない場合
都市再生機構・公社の借家	その世帯の借りている住宅が、都市再生機構又は都道府県・市区町村の住宅供給公社・住宅協会・開発公社などの賃貸住宅やアパートであって、かつ給与住宅でない場合 ※ 雇用・能力開発機構の雇用促進住宅（移転就職者用宿舎）も含まれます。
民営の借家	その世帯の借りている住宅が、「公営の借家」、「都市再生機構・公社の借家」及び「給与住宅」ではない場合
給与住宅	勤務先の会社・官公庁・団体などの所有又は管理する住宅に、職務の都合上又は給与の一部として居住している場合 ※ 家賃の支払の有無を問わず、また、勤務先の会社又は雇主が借りている一般の住宅に住んでいる場合も含まれます。
間借り	他の世帯が住んでいる住宅（持ち家、公営の借家、都市再生機構・公社の借家、民営の借家、給与住宅）の一部を借りて住んでいる場合

## 16 住宅の建て方

各世帯が居住する住宅を、その建て方により、次のとおり区分しています。

区 分	内 容
一戸建	1建物が1住宅であるもの なお、店舗併用住宅の場合でも、1建物が1住宅であればここに含みます。
長屋建	二つ以上の住宅を一棟に建て連ねたもので、各住宅が壁を共通にし、それぞれ別々に外部への出入口をもっているもの いわゆる「テラスハウス」も含みます。
共同住宅	棟の中に二つ以上の住宅があるもので、廊下・階段などを共用しているものや二つ以上の住宅を重ねて建てたもの ※ 1階が店舗で、2階以上が住宅になっている建物も含みます。 ※ 建物の階数及び世帯が住んでいる階により「1・2階建」、「3～5階建」、「6～10階建」、「11～14階建」、「15階建以上」に5区分しています。
その他	上記以外で、例えば、工場や事務所などの一部に住宅がある場合

## 17 人口集中地区

人口集中地区の設定に当たっては、国勢調査基本単位区及び基本単位区内に複数の調査区がある場合は調査区（以下「基本単位区等」という。）を基礎単位として、

①原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接して、

②それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有するこの地域を「人口集中地区」とします。

なお、人口集中地区は「都市的地域」を表す観点から、学校・研究所・神社・仏閣・運動場等の文教レクリエーション施設、工場・倉庫・事務所等の産業施設、官公庁・病院・療養所等の公共及び社会福祉施設のある基本単位区等で、それらの施設の面積を除いた残りの区域に人口が密集している基本単位区等又はそれらの施設の面積が2分の1以上占める基本単位区等が上記①の基本単位区等に隣接している場合には、上記①を構成する地域に含めます。

### 人口集中地区を設定した経緯

- ① 昭和28年に施行された「町村合併促進法」等に伴う「昭和の大合併」により、市部の地域内に、農漁村的性格の強い地域が広範囲に含まれるようになりました。
- ② 市部の地域は、従来表していた統計上の「都市的地域」としての特質を必ずしも明瞭に表さなくなり、統計の利用に不便が生じてきました。
- ③ 昭和35年調査の際に、この「都市的地域」の特質を明らかにする新しい統計上の地域単位として「人口集中区」を設定し、これらについても集計することにしました。
- ④ 地方交付税の交付算定基準の一つとして利用されているほか、都市計画、地域開発計画などの各種行政施策、学術研究、民間の市場調査などに広く利用されています。

\* その他の用語は、『平成27年国勢調査 調査結果の利用案内 -ユーザーズガイド- 』（<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/users-g.htm>）を参照してください。

# 結果の概要

## 1 人口

- 人口はゆるやかに増加し、108万2159人（平成27年10月1日現在）
- 増加率は3.5%、前回調査を引き続き上回る
- 人口集中地区の人口は100万1882人、総人口の92.6%を占める

平成27年10月1日現在の仙台市の人口は、108万2159人で、5年前の前回調査に比べ3万6173人増加し、大正9年の第1回国勢調査以来増加を続けています。

5年ごとの増加率の推移をみると、昭和30年から増加率が前回を上回り続け、昭和50年には18.4%と最も高くなりました。その後、増加率は前回を下回り続けていましたが、平成22年調査では昭和55年以降初めて前回増加率を上回り、平成27年調査でも前回を1.5ポイント上回る3.5%の増加率となりました。（図1、表1）

図1 人口及び人口増加率の推移（組替）—大正14年～平成27年

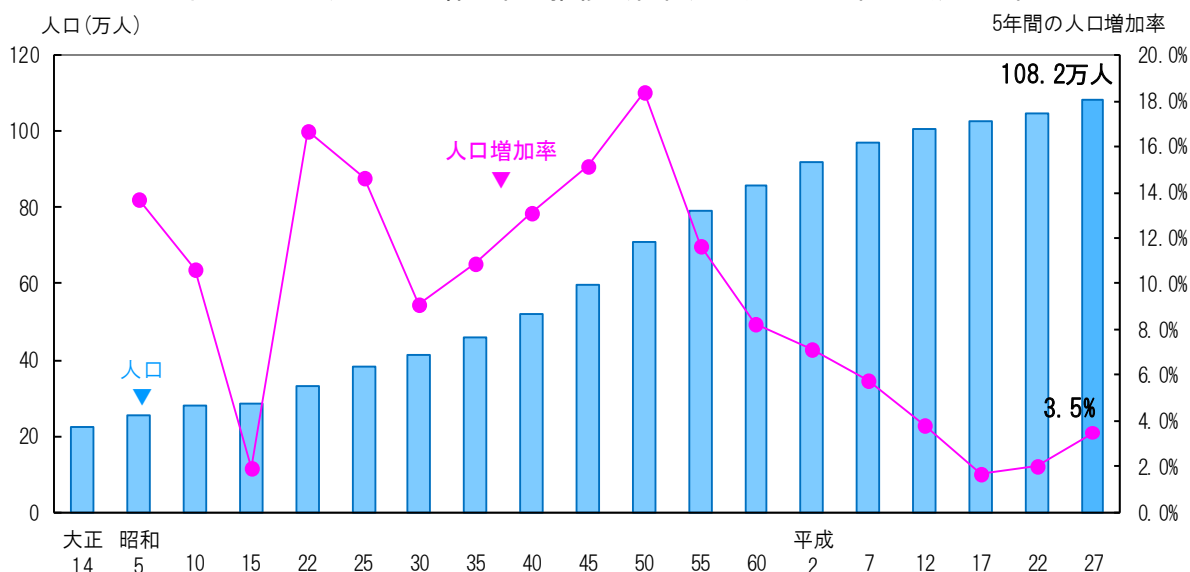


表1 男女別人口の推移—昭和40年～平成27年

年次	人口 (人)			5年間の人口増減		性比 (女=100)
	総数	男	女	増減数 (人)	増減率 (%)	
昭和 40年	520,059	256,965	263,094	60,183	13.1	97.7
45年	598,950	296,898	302,052	78,891	15.2	98.3
50年	709,326	351,623	357,703	110,376	18.4	98.3
55年	792,036	393,642	398,394	82,710	11.7	98.8
60年	857,335	425,984	431,351	65,299	8.2	98.8
平成 2年	918,398	454,954	463,444	61,063	7.1	98.2
7年	971,297	480,684	490,613	52,899	5.8	98.0
12年	1,008,130	496,270	511,860	36,833	3.8	97.0
17年	1,025,098	500,597	524,501	16,968	1.7	95.4
22年	1,045,986	507,833	538,153	20,888	2.0	94.4
27年	1,082,159	527,170	554,989	36,173	3.5	95.0

実質的な都市地域を表す「人口集中地区」における仙台市の人口は100万1882人、総人口に占める割合は、前回より3.5ポイント増加し、92.6%となっています。(表2)

表2 人口集中地区人口、面積及び人口密度の推移－昭和50年～平成27年

年次	人口			面積			人口密度	
	人口集中地区	市全域	市全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区	市全域	市全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区	市全域
	人	人	%	km <sup>2</sup>	km <sup>2</sup>	%	人/km <sup>2</sup>	人/km <sup>2</sup>
昭和50年	581,158	709,326	81.9	76.7	788.09	9.7	7,577.0	900.1
55	648,992	792,036	81.9	86.5	788.03	11.0	7,502.8	1,005.1
60	723,200	857,335	84.4	102.9	788.03	13.1	7,028.2	1,087.9
平成2年	774,143	918,398	84.3	113.3	783.57	14.5	6,832.7	1,172.1
7	844,783	971,297	87.0	123.8	783.50	15.8	6,823.2	1,239.7
12	892,252	1,008,130	88.5	129.69	783.54	16.6	6,879.9	1,286.6
17	905,139	1,025,098	88.3	130.20	783.54	16.6	6,951.9	1,308.3
22	931,677	1,045,986	89.1	134.76	783.54	17.2	6,913.6	1,334.9
27	1,001,882	1,082,159	92.6	149.10	786.30	19.0	6,719.5	1,376.3

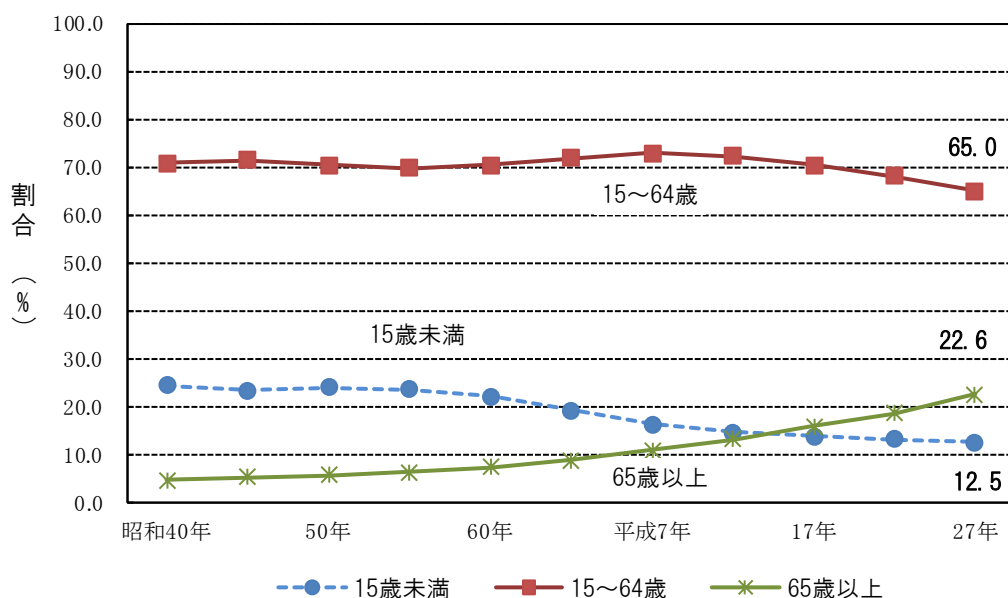
## 2 年齢別人口

- 65歳以上人口は23万4360人、高齢化率は22.6%となり「超高齢社会」へ
- 5歳階級別では、増加数が最も多いのは65～69歳、減少数が最も多いのは35～39歳
- 人口ピラミッドは張り出しが少なくなり、「つぼ型」に近い形

仙台市の総人口を年齢3区分別にみると、15歳未満の年少人口は12万9309人(総人口に占める割合12.5%)、15～64歳の生産年齢人口は67万4873人(同65.0%)、65歳以上の老年人口は23万4360人(同22.6%)となっています。

総人口に占める割合を平成22年と比べると、年少人口は0.8ポイントの低下、生産年齢人口は3.2ポイントの低下となった一方、老年人口は4ポイント上昇しました。(図2、表3)

図2 年齢(3区分)別人口割合の推移－昭和40年～平成27年



年齢を5歳階級別に前回と比較すると、39歳以下は全ての階級で減少しており、「35～39歳」が1万2235人減少で減少数が一番多くなり、次いで「30～34歳」が1万1111人減少となっています。一方、65歳以上では全ての階級で前回調査より増加しています。

平成27年の「25～29歳」人口と5年前の「20～24歳」人口との比較では、7973人減少している一方、「20～24歳」人口と5年前の「15～19歳」人口との比較では、9556人増加しています。進学や就職等での転入や就職での転出が要因の一つと考えられます。(表3)

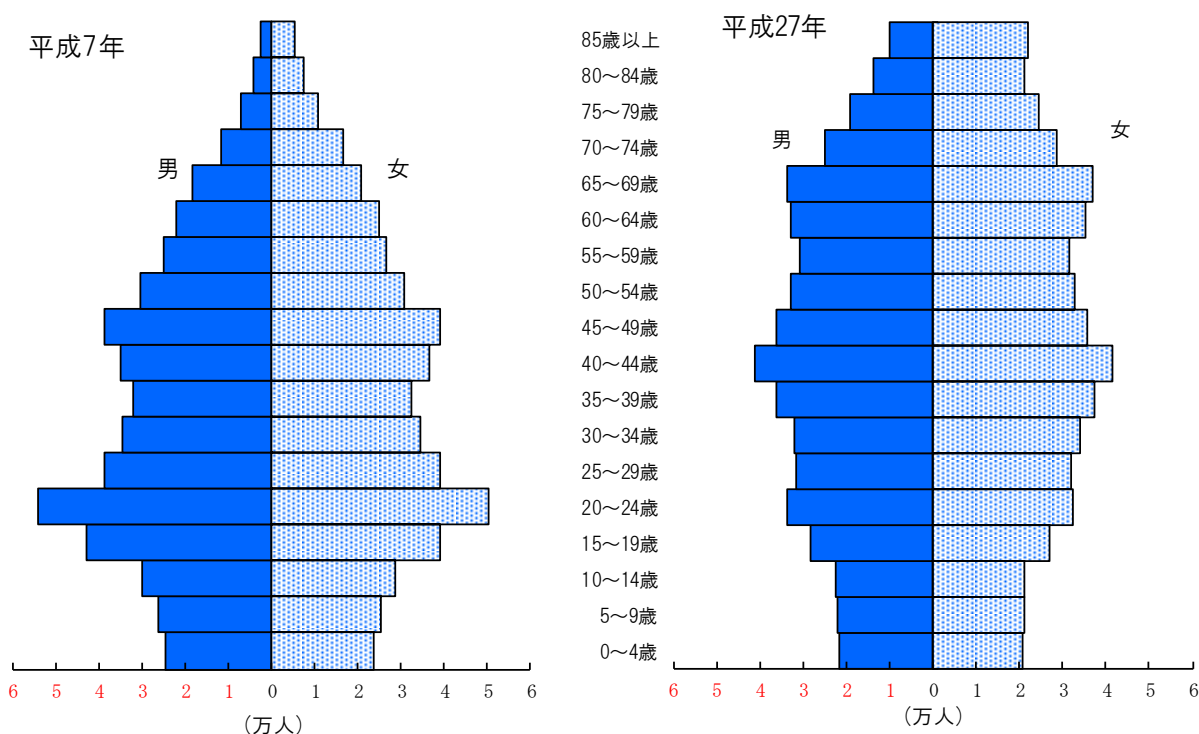
表3 年齢(5歳階級)別人口の推移—平成2年～平成27年

年齢階級	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年	平成22年～27年	
							増減数	増減率(%)
総数	918,398	971,297	1,008,130	1,025,098	1,045,986	1,082,159	36,173	3.5
0～4歳	52,346	48,412	48,383	46,056	44,566	42,369	△ 2,197	△ 4.9
5～9	58,802	51,576	47,250	47,126	45,240	43,016	△ 2,224	△ 4.9
10～14	63,991	58,426	51,192	46,869	47,026	43,924	△ 3,102	△ 6.6
15～19	85,104	81,858	73,140	63,082	56,571	55,128	△ 1,443	△ 2.6
20～24	86,810	104,447	96,130	82,440	71,620	66,127	△ 5,493	△ 7.7
25～29	67,326	77,541	91,860	80,174	71,147	63,647	△ 7,500	△ 10.5
30～34	64,825	69,074	76,745	87,471	77,370	66,259	△ 11,111	△ 14.4
35～39	70,998	64,540	67,886	74,677	85,610	73,375	△ 12,235	△ 14.3
40～44	77,840	71,452	64,875	66,666	73,918	82,644	8,726	11.8
45～49	61,914	77,789	71,049	63,354	65,955	71,928	5,973	9.1
50～54	52,516	61,317	75,937	69,145	62,124	65,551	3,427	5.5
55～59	48,155	51,820	59,663	73,581	67,445	62,245	△ 5,200	△ 7.7
60～64	41,048	47,008	50,498	57,724	71,619	67,969	△ 3,650	△ 5.1
65～69	30,093	39,268	45,287	48,626	55,699	70,537	14,838	26.6
70～74	20,935	28,096	36,559	42,647	45,962	53,523	7,561	16.5
75～79	15,378	18,109	25,203	33,252	38,671	43,638	4,967	12.8
80～84	9,053	11,642	14,575	21,060	27,905	34,912	7,007	25.1
85～89	3,783	5,643	7,908	10,503	15,609	20,611	5,002	32.0
90～94	1,010	1,644	2,895	4,457	5,974	8,694	2,720	45.5
95～99	169	284	542	1,115	1,647	2,114	467	28.4
100歳以上	12	25	51	135	255	331	76	29.8
年齢不詳	6,290	1,326	502	4,938	14,053	43,617	-	-
(再掲)								
15歳未満	175,139	158,414	146,825	140,051	136,832	129,309	△ 7,523	△ 5.5
15～64歳	656,536	706,846	727,783	718,314	703,379	674,873	△ 28,506	△ 4.1
65歳以上	80,433	104,711	133,020	161,795	191,722	234,360	42,638	22.2
65～74歳	51,028	67,364	81,846	91,237	101,661	124,060	22,399	22.0
75歳以上	29,405	37,347	51,174	70,522	90,061	110,300	20,239	22.5
年齢別割合(%)								
15歳未満	19.2	16.3	14.6	13.7	13.3	12.5	-	-
15～64歳	72.0	72.9	72.2	70.4	68.2	65.0	-	-
65歳以上	8.8	10.8	13.2	15.9	18.6	22.6	-	-
65～74歳	5.6	6.9	8.1	8.9	9.9	11.9	-	-
75歳以上	3.2	3.9	5.1	6.9	8.7	10.6	-	-

\*年齢別割合は年齢不詳を除いて算出している。

平成 27 年の人口ピラミッドを 20 年前（平成 7 年）のそれと比較すると、全体的には張り出しが少なくなり、また、ピラミッドの頂点がより平たくなっています。年齢層の間で人口の差が小さく、14 歳以下人口も少なくなり、「つぼ型」に近い形を示しています。（図 3）

図 3 人口ピラミッド



### 3 配偶関係別人口

- 未婚の割合は男性が高く、死別・離別の割合は女性が高い
- 「有配偶」が「未婚」を上回るのは、男女とも 30～34 歳以上の年齢階級
- 未婚率は、男女とも 20～49 歳の全ての年齢階級で前回は上回る

平成 27 年の 15 歳以上人口 90 万 9233 人（男性 43 万 6983 人、女性 47 万 2250 人）を配偶関係別にみると、男性は「未婚」が 14 万 4538 人（15 歳以上男性の 34.1%）、「有配偶」が 25 万 1696 人（同 59.4%）、「死別」が 1 万 1537 人（同 2.7%）、「離別」が 1 万 6139 人（同 3.8%）となっています。一方、女性は「未婚」が 13 万 195 人（15 歳以上女性の 28.2%）、「有配偶」が 24 万 9452 人（同 54%）、「死別」が 5 万 3730 人（同 11.6%）、「離別」が 2 万 8670 人（同 6.2%）となっています。

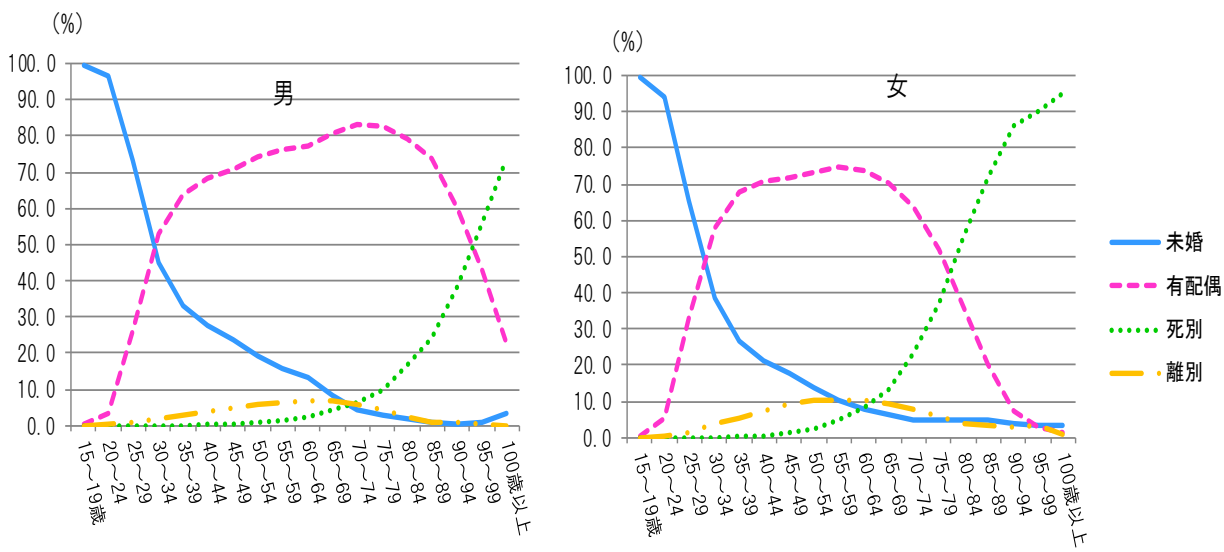
また、「有配偶」の割合が「未婚」を上回るのは男女とも 30～34 歳以上の年齢階級となっています。（表 4、図 4）

表 4 配偶関係別 15 歳以上人口

年齢階級	男						女					
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳
総数	436,983	144,538	251,696	11,537	16,139	13,073	472,250	130,195	249,452	53,730	28,670	10,203
15～19歳	28,332	27,697	100	2	6	527	26,796	26,365	107	1	13	310
20～24	33,762	30,397	1,053	4	49	2,259	32,365	28,927	1,676	6	110	1,646
25～29	31,643	21,167	7,575	6	202	2,693	32,004	19,893	10,024	16	469	1,602
30～34	32,051	14,047	16,534	18	556	896	34,208	12,979	19,498	44	1,222	465
35～39	36,185	11,702	22,586	37	1,003	857	37,190	9,797	24,953	104	1,978	358
40～44	41,171	11,169	27,695	71	1,640	596	41,473	8,744	29,081	229	3,103	316
45～49	36,205	8,492	25,290	152	1,782	489	35,723	6,332	25,487	458	3,227	219
50～54	32,899	6,228	23,946	255	1,890	580	32,652	4,386	23,793	807	3,411	255
55～59	30,551	4,763	22,764	411	1,940	673	31,694	3,238	23,231	1,478	3,204	543
60～64	32,750	4,156	24,660	801	2,227	906	35,219	2,686	25,427	2,865	3,481	760
65～69	33,652	2,763	26,547	1,356	2,165	821	36,885	2,365	25,595	4,911	3,437	577
70～74	25,002	1,074	20,389	1,564	1,439	536	28,521	1,428	17,908	6,486	2,164	535
75～79	19,048	543	15,305	1,842	803	555	24,590	1,191	12,345	8,855	1,334	865
80～84	13,861	245	10,552	2,207	336	521	21,051	942	7,215	11,084	817	993
85～89	7,175	78	5,214	1,700	77	106	13,436	625	2,616	9,335	456	404
90～94	2,202	11	1,291	832	22	46	6,492	233	443	5,361	190	265
95～99	437	4	182	237	2	12	1,677	56	50	1,447	52	72
100歳以上	57	2	13	42	-	-	274	8	3	243	2	18
						構成						
総数	100.0	34.1	59.4	2.7	3.8	-	100.0	28.2	54.0	11.6	6.2	-
15～19歳	100.0	99.6	0.4	0.0	0.0	-	100.0	99.5	0.4	0.0	0.0	-
20～24	100.0	96.5	3.3	0.0	0.2	-	100.0	94.2	5.5	0.0	0.4	-
25～29	100.0	73.1	26.2	0.0	0.7	-	100.0	65.4	33.0	0.1	1.5	-
30～34	100.0	45.1	53.1	0.1	1.8	-	100.0	38.5	57.8	0.1	3.6	-
35～39	100.0	33.1	63.9	0.1	2.8	-	100.0	26.6	67.7	0.3	5.4	-
40～44	100.0	27.5	68.3	0.2	4.0	-	100.0	21.2	70.7	0.6	7.5	-
45～49	100.0	23.8	70.8	0.4	5.0	-	100.0	17.8	71.8	1.3	9.1	-
50～54	100.0	19.3	74.1	0.8	5.8	-	100.0	13.5	73.4	2.5	10.5	-
55～59	100.0	15.9	76.2	1.4	6.5	-	100.0	10.4	74.6	4.7	10.3	-
60～64	100.0	13.1	77.4	2.5	7.0	-	100.0	7.8	73.8	8.3	10.1	-
65～69	100.0	8.4	80.9	4.1	6.6	-	100.0	6.5	70.5	13.5	9.5	-
70～74	100.0	4.4	83.3	6.4	5.9	-	100.0	5.1	64.0	23.2	7.7	-
75～79	100.0	2.9	82.8	10.0	4.3	-	100.0	5.0	52.0	37.3	5.6	-
80～84	100.0	1.8	79.1	16.5	2.5	-	100.0	4.7	36.0	55.3	4.1	-
85～89	100.0	1.1	73.8	24.0	1.1	-	100.0	4.8	20.1	71.6	3.5	-
90～94	100.0	0.5	59.9	38.6	1.0	-	100.0	3.7	7.1	86.1	3.1	-
95～99	100.0	0.9	42.8	55.8	0.5	-	100.0	3.5	3.1	90.2	3.2	-
100歳以上	100.0	3.5	22.8	73.7	0.0	-	100.0	3.1	1.2	94.9	0.8	-
平成22年構成比(%)												
総数	100.0	33.2	61.2	2.3	3.3	-	100.0	28.1	55.4	10.7	5.7	-

\*構成比は配偶関係「不詳」を除いて算出している。

図 4 配偶関係, 年齢 (5 歳階級), 男女別 15 歳以上人口の割合





20歳～49歳までの年齢階級別に未婚率の推移をみると、男女とも全ての年齢階級において、前回は上回っています。(表5, 図5)

図5 年齢階級(20～49歳)別未婚率の推移—平成7年～平成27年

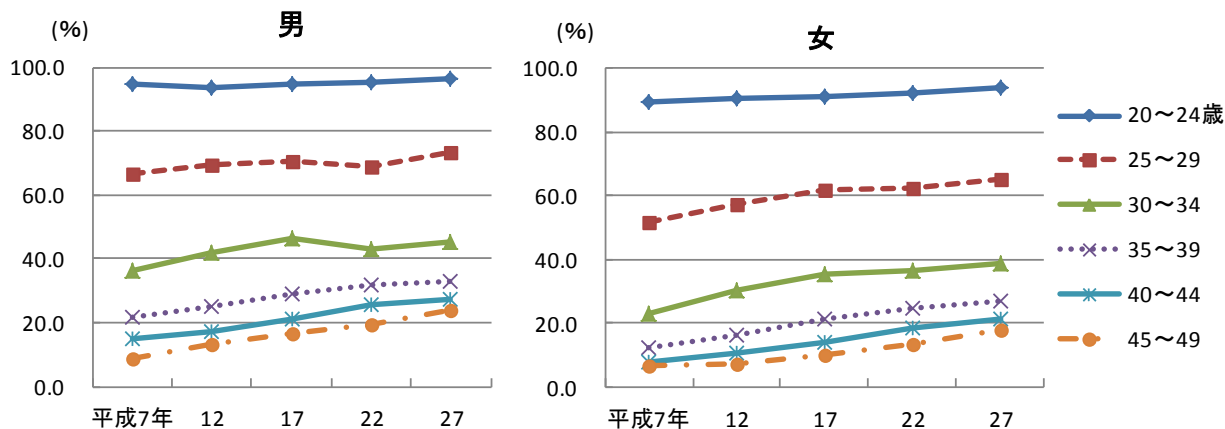


表5 年齢階級(20～49歳)別未婚率の推移—平成7年～平成27年

(単位: %)

年齢階級	男					女				
	平成7年	12年	17年	22年	27年	平成7年	12年	17年	22年	27年
20～24歳	94.6	93.8	94.7	95.2	96.5	89.6	90.4	91.3	92.1	94.2
25～29	66.5	69.2	70.4	68.7	73.1	51.7	57.0	61.9	62.3	65.4
30～34	36.3	42.0	46.2	42.7	45.1	22.7	30.0	35.4	36.5	38.5
35～39	21.5	25.0	29.1	31.8	33.1	12.4	16.2	21.0	24.5	26.6
40～44	14.8	17.3	20.9	25.4	27.5	8.0	10.7	13.8	18.6	21.2
45～49	8.8	13.2	16.3	19.6	23.8	6.6	7.4	10.0	13.6	17.8

#### 4 外国人人口

- ▶ 外国人人口は 8898 人で、仙台市の総人口の 0.8%
- ▶ 国籍では、「中国」が最も多く、外国人人口の 34.8%を占める

仙台市に在住する外国人人口は 8898 人で、平成 22 年と比べて 20.9%増加しました。また、仙台市の総人口に占める割合は 0.8%となっています。

国籍別にみると、「中国」が最も多く 3100 人（外国人人口の 34.8%）、次いで「韓国、朝鮮」が 1830 人（同 20.6%）などとなっています。「ベトナム」は前回の 69 人から 712 人と大幅に増加しています。外国人人口に占める割合を平成 22 年と比較すると、「中国」が 6.9 ポイント低下、「韓国、朝鮮」が 8.8 ポイント低下、「イギリス」が 0.2 ポイント低下、それ以外の国籍では上昇しています。（表 6、図 6）

図 6 国籍別外国人人口の割合—平成 27 年

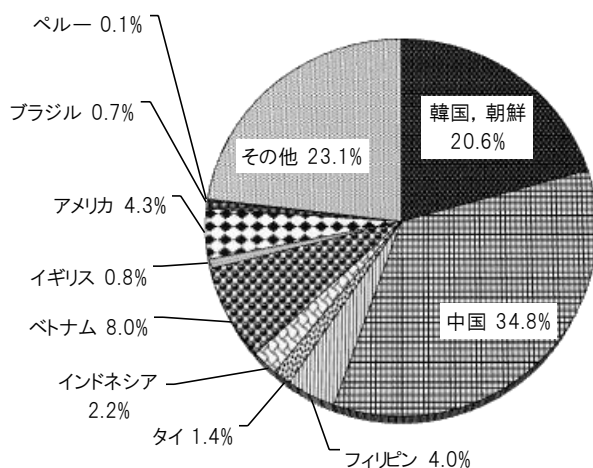


表 6 国籍別外国人人口の推移—平成 22 年～平成 27 年

国籍	実数(人)		増減数 (人)	増減率 (%)	割合(%)	
	平成22年	平成27年			平成22年	平成27年
総数	7,360 (0.7%)	8,898 (0.8%)	1,538	20.9	100.0	100.0
( )内の数値は、総人口に占める外国人人口の割合						
韓国, 朝鮮	2,162	1,830	△ 332	△ 15.4	29.4	20.6
中国	3,071	3,100	29	0.9	41.7	34.8
フィリピン	266	354	88	33.1	3.6	4.0
タイ	72	129	57	79.2	1.0	1.4
インドネシア	110	192	82	74.5	1.5	2.2
ベトナム	69	712	643	931.9	0.9	8.0
イギリス	70	72	2	2.9	1.0	0.8
アメリカ	291	382	91	31.3	4.0	4.3
ブラジル	43	61	18	41.9	0.6	0.7
ペルー	4	10	6	150.0	0.1	0.1
その他	1,202	2,056	854	71.0	16.3	23.1

\* 国籍 [その他]には、無国籍及び国名「不詳」を含む。

## 5 世帯の状況

### (1)世帯数, 世帯規模

- ▶ 世帯数は49万8953世帯, うち一般世帯は49万8257世帯
- ▶ 一般世帯は, 世帯数・世帯人員は一貫して増加, 1世帯当たり人員は一貫して減少
- ▶ 世帯人員が1人の世帯が最も多く, 世帯人員が多くなるほど世帯数は少ない

平成27年10月1日現在の仙台市の世帯数は49万8953世帯で, 平成22年の46万5260世帯に比べ3万3693世帯の増となり, 増加率は7.2%となっています。

一般世帯数は49万8257世帯, 一般世帯人員は106万769人で, 一般世帯の1世帯当たり人員は2.13人となっています。

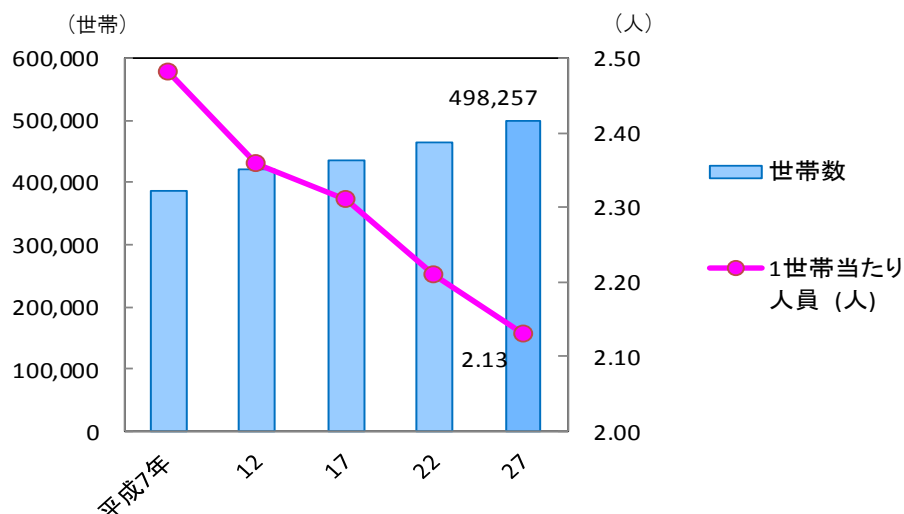
一般世帯について平成7年以降の推移をみると, 世帯数及び世帯人員とも一貫して増加している一方, 1世帯当たり人員は一貫して減少しています。(表7, 図7)

表7 総世帯数, 一般世帯数・世帯人員及び施設等の世帯数・世帯人員の推移—平成7年～平成27年

年次	総数 (世帯)	一般世帯			施設等の世帯		
		世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)	1世帯当たり 人員(人)	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)	
実数	平成7年	387,292	385,659	954,776	2.48	412	15,195
	12	421,182	420,368	991,664	2.36	446	15,964
	17	439,579	434,539	1,002,678	2.31	567	17,482
	22	465,260	464,640	1,026,693	2.21	620	19,293
	27	498,953	498,257	1,060,769	2.13	696	21,390
増減数	平成7～12年	33,890	34,709	36,888	△0.12	34	769
	12～17年	18,397	14,171	11,014	△0.05	121	1,518
	17～22年	25,681	30,101	24,015	△0.10	53	1,811
	22～27年	33,693	33,617	34,076	△0.08	76	2,097
増減率	平成7～12年	8.8%	9.0%	3.9%	△4.9%	8.3%	5.1%
	12～17年	4.4%	3.4%	1.1%	△2.1%	27.1%	9.5%
	17～22年	5.8%	6.9%	2.4%	△4.3%	9.3%	10.4%
	22～27年	7.2%	7.2%	3.3%	△3.7%	12.3%	10.9%

\*平成7年～17年は, 総数に世帯の種類「不詳」を含む。

図7 一般世帯及び一般世帯の1世帯当たり人員の推移—平成7年～平成27年



一般世帯数を世帯人員別にみると、世帯人員が1人の世帯が21万5236世帯（一般世帯の43.2%）と最も多く、世帯人員が多くなるほど世帯数は少なくなっています。

平成22年と比べると、世帯人員が3人以下の世帯はいずれも増加しており、世帯人員が多くなるほど増加率は低くなっています。一方、4人以上の世帯はいずれも減少し、世帯人員が多くなるほど減少率は高くなっています。（図8、表8）

図8 世帯人員別一般世帯割合の推移—平成17年～平成27年

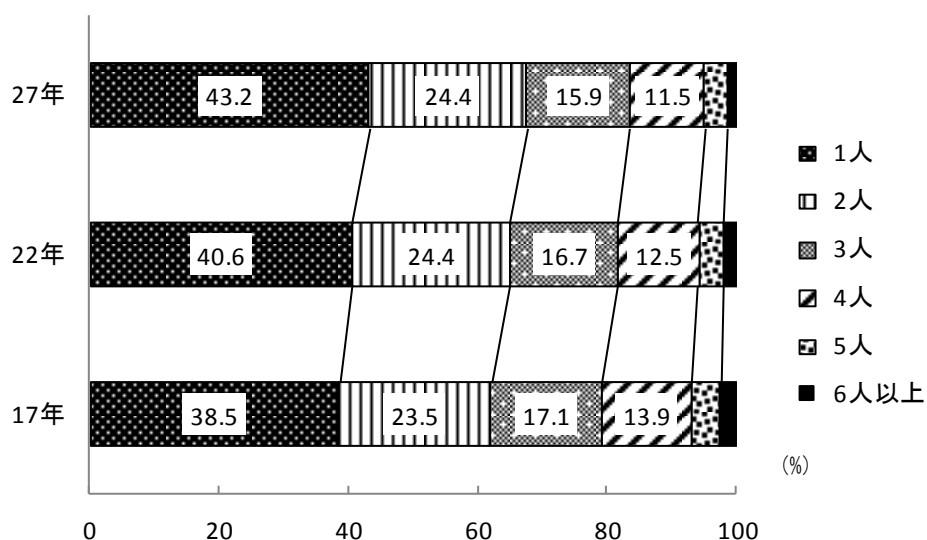


表8 世帯人員別一般世帯数の推移—平成17年～平成27年

区分	一般世帯数 (実数：世帯, 比率：%)						増減数 (世帯)		増減率 (%)
	17年		22年		27年		17～22年	22～27年	22～27年
	実数	比率	実数	比率	実数	比率			
総数	434,539	100.0	464,640	100.0	498,257	100.0	30,101	33,617	7.2
1人	167,269	38.5	188,567	40.6	215,236	43.2	21,298	26,669	14.1
2人	102,305	23.5	113,546	24.4	121,567	24.4	11,241	8,021	7.1
3人	74,290	17.1	77,807	16.7	79,097	15.9	3,517	1,290	1.7
4人	60,437	13.9	58,163	12.5	57,354	11.5	△ 2,274	△ 809	△ 1.4
5人	19,643	4.5	17,877	3.8	17,341	3.5	△ 1,766	△ 536	△ 3.0
6人以上	10,595	2.4	8,680	1.9	7,662	1.5	△ 1,915	△ 1,018	△ 11.7

(2)世帯の種類・家族類型(一般世帯)

- ▶ 単独世帯は 21 万 5236 世帯で、割合は 43.2%とさらに上昇
- ▶ 年齢(5歳階級)別人口に占める単独世帯の割合は、20~24歳が最も高い
- ▶ 女性の80~84歳での単独世帯割合も高く、約3人に1人が単独世帯

一般世帯数を世帯の家族類型別にみると、「親族のみの世帯」は 27 万 2075 世帯(一般世帯に占める割合 54.6%)、「単独世帯」は 21 万 5236 世帯(同 43.2%)となっています。

「親族のみの世帯」のうち、「核家族世帯」は 24 万 648 世帯(同 48.3%)で、そのうち最も多いのは「夫婦と子供から成る世帯」で 11 万 7964 世帯(同 23.7%)、次いで「夫婦のみの世帯」で 8 万 5289 世帯(同 17.1%)などとなっています。(図 9、表 9)

図 9 一般世帯の家族類型別割合の推移—平成 17 年～平成 27 年

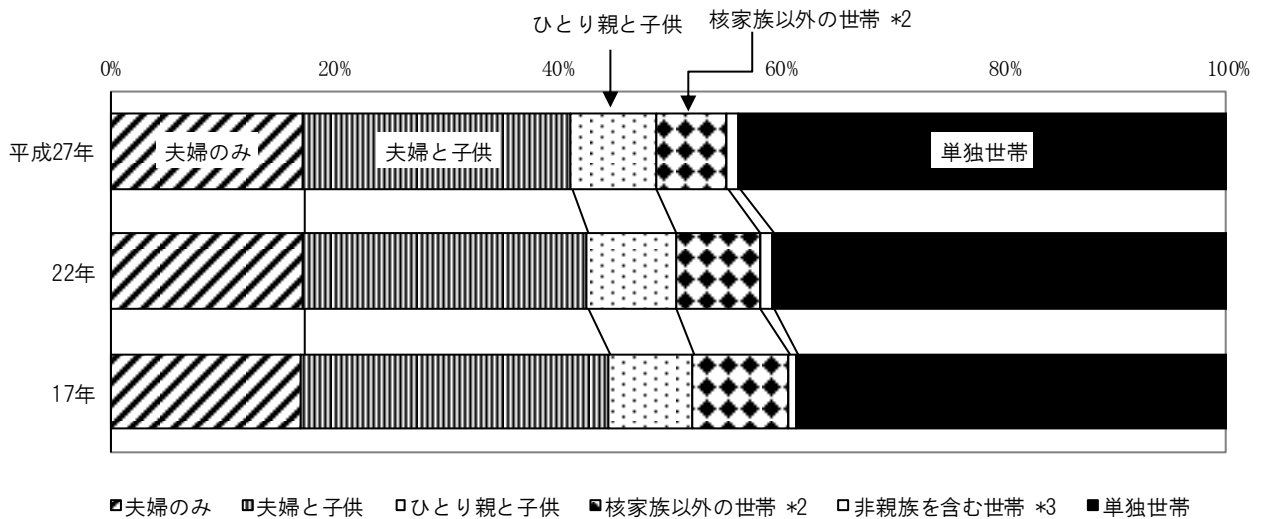


表 9 世帯の家族類型別一般世帯数の推移—平成 17 年～平成 27 年

家族類型	一般世帯数(世帯)			構成比(%)			増減率(%)	
	17年	22年	27年	17年	22年	27年	17~22年	22~27年
総数	434,539	464,640	498,257	100.0	100.0	100.0	6.9	7.2
親族のみの世帯 *1	264,082	270,448	272,075	60.8	58.2	54.6	2.4	0.6
核家族世帯	226,777	236,107	240,648	52.2	50.8	48.3	4.1	1.9
夫婦のみ	74,143	80,082	85,289	17.1	17.2	17.1	8.0	6.5
夫婦と子供	119,764	118,453	117,964	27.6	25.5	23.7	△ 1.1	△ 0.4
男親と子供	4,160	4,573	4,723	1.0	1.0	0.9	9.9	3.3
女親と子供	28,710	32,999	32,672	6.6	7.1	6.6	14.9	△ 1.0
核家族以外の世帯 *2	37,305	34,341	31,427	8.6	7.4	6.3	△ 7.9	△ 8.5
非親族を含む世帯 *3	3,188	5,531	4,948	0.7	1.2	1.0	73.5	△ 10.5
単独世帯	167,269	188,567	215,236	38.5	40.6	43.2	12.7	14.1

\* 図 9、表 9 における平成 17 年結果の表記は\*1「親族の世帯」\*2「その他の世帯」\*3「非親族世帯」となる。

\*平成 22 年、27 年の総数には世帯の家族類型「不詳」を含む。

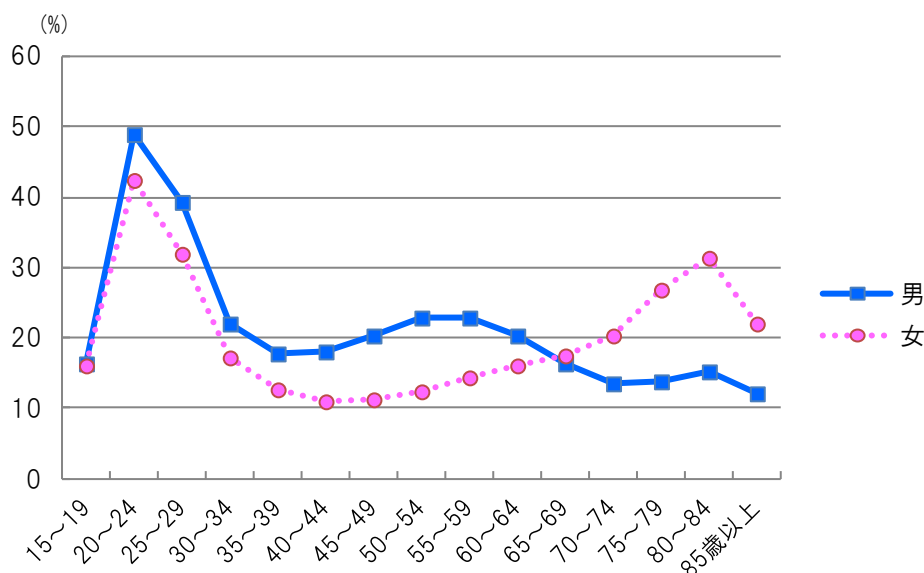
\*構成比は世帯の家族類型「不詳」を含めて算出している。

年齢(5歳階級)別人口に占める「単独世帯」の比率をみると、男女とも20～24歳で最も高く、男性で49%、女性で42.4%を占めています。また、15歳以上の年齢階級では、60～64歳までの各年齢階級で男性が女性を上回っている一方、65歳以上の階級では女性が男性を上回っています。(図10、表10)

表10 単独世帯の年齢(5歳階級)、男女別世帯人員—平成22年・平成27年

年齢階級	男				女			
	平成22年		平成27年		平成22年		平成27年	
	実数(人)	比率(%)	実数(人)	比率(%)	実数(人)	比率(%)	実数(人)	比率(%)
総数	99,044	19.5	113,068	21.4	89,523	16.6	102,168	18.4
～14歳	3	0.0	4	0.0	4	0.0	-	-
15～19	5,150	17.9	4,631	16.3	4,501	16.2	4,301	16.1
20～24	16,738	46.3	16,532	49.0	14,139	39.9	13,722	42.4
25～29	11,918	34.8	12,434	39.3	10,548	28.6	10,266	32.1
30～34	8,860	23.4	7,034	21.9	7,311	18.5	5,904	17.3
35～39	8,593	20.2	6,454	17.8	5,776	13.4	4,709	12.7
40～44	7,201	19.5	7,408	18.0	4,254	11.5	4,529	10.9
45～49	6,563	20.1	7,375	20.4	3,456	10.4	3,989	11.2
50～54	6,114	20.1	7,567	23.0	3,429	10.8	4,007	12.3
55～59	5,823	18.0	6,987	22.9	4,107	11.7	4,580	14.5
60～64	4,788	13.9	6,619	20.2	5,009	13.5	5,647	16.0
65～69	3,007	11.3	5,478	16.3	4,623	15.9	6,400	17.4
70～74	2,007	9.6	3,381	13.5	4,883	19.6	5,824	20.4
75～79	1,453	8.8	2,626	13.8	5,204	23.5	6,586	26.8
80～84	1,008	9.1	2,112	15.2	4,407	26.2	6,612	31.4
85歳以上	763	11.0	1,192	12.1	3,112	18.8	4,824	22.0

図10 単独世帯の年齢(5歳階級)、男女別世帯人員の割合—平成27年



\* 総数には、年齢「不詳」を含む。

\* 比率＝男女、年齢5歳階級別一般世帯のうちの単独世帯人員／当該年齢階級の男女別人口

(3)高齢世帯員のいる世帯(一般世帯)

- 65歳以上世帯員のいる一般世帯数は、一般世帯の3割以上を占める
- 65歳以上の単独世帯、夫婦とも65歳以上の高齢夫婦世帯の増加が続く

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は15万5063世帯で、平成22年に比べて2万7982世帯の増加となっています。一般世帯に占める割合は平成27年には31.1%となり、上昇が続いています。

65歳以上世帯員のいる一般世帯数を家族類型別にみると、「単独世帯」が4万5035世帯(65歳以上世帯員のいる一般世帯の29%)と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が4万5016世帯(同29%)などとなっています。(表11、図11)

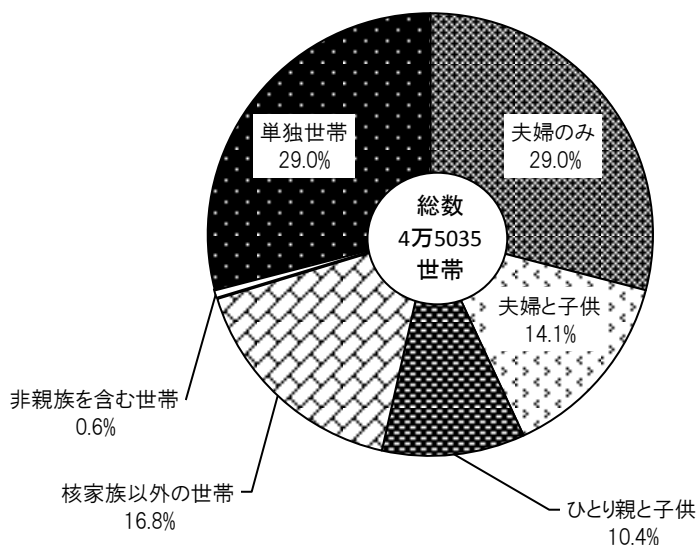
表11 世帯の家族類型別65歳以上世帯員のいる一般世帯数の推移  
—平成17年～平成27年

家族類型	実数(世帯)			構成比(%)		
	17年	22年	27年	17年	22年	27年
65歳以上世帯員のいる一般世帯	109,123	127,081	155,063	100.0 (25.1)	100.0 (27.4)	100.0 (31.1)
親族のみの世帯 *1	84,711	95,849	109,043	77.6	75.4	70.3
核家族世帯	55,984	68,690	82,981	51.3	54.1	53.5
夫婦のみの世帯	31,775	37,780	45,016	29.1	29.7	29.0
夫婦と子供から成る世帯	14,203	17,874	21,802	13.0	14.1	14.1
男親と子供から成る世帯	1,505	2,129	2,659	1.4	1.7	1.7
女親と子供から成る世帯	8,501	10,907	13,504	7.8	8.6	8.7
核家族以外の世帯 *2	28,727	27,159	26,062	26.3	21.4	16.8
非親族を含む世帯 *3	169	765	985	0.2	0.6	0.6
単独世帯	24,243	30,467	45,035	22.2	24.0	29.0

\*()内の数値は、一般世帯に占める65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合

\*平成17年結果の表記は\*1「親族の世帯」\*2「その他の世帯」\*3「非親族世帯」となる。

図11 65歳以上世帯員のいる一般世帯の家族類型別割合—平成27年



65歳以上の単独世帯は平成22年と比べて47.8%増加しています。年齢（5歳階級）別にみると、65歳以上の全ての年齢階級で男女とも増加しており、特に男性の80～84歳以上の年齢階級では2倍以上になっています。（図12、表12）

また、夫と妻がともに65歳以上の高齢夫婦世帯は3万6053世帯で、平成22年に比べ6764世帯（23.1%）の増加となっています。（表13）

図12 年齢別高齢単身者数の推移—平成17年～平成27年

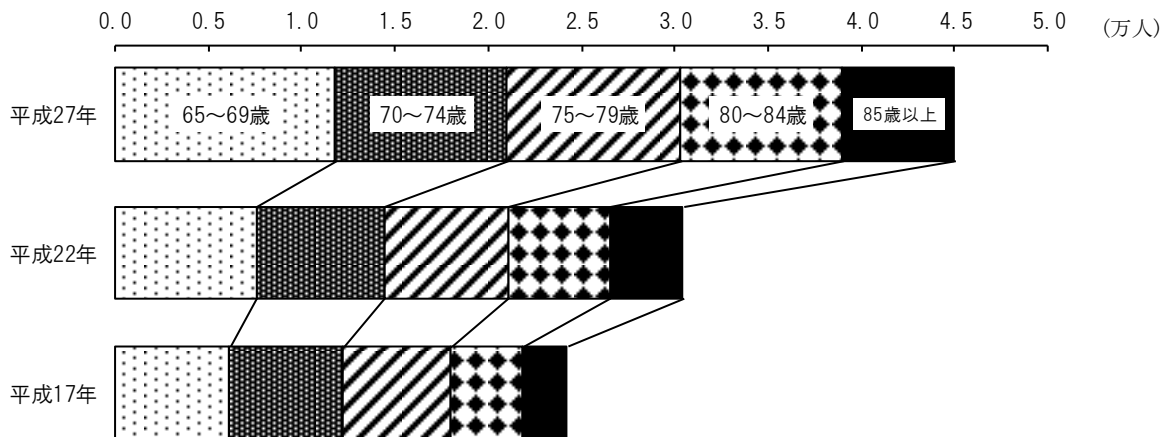


表12 65歳以上の高齢単身者数（男女別）—平成22年・平成27年

（単位：人，％）

年齢別	平成22年			平成27年			増減率		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	30,467	8,238	22,229	45,035	14,789	30,246	47.8	79.5	36.1
65～69歳	7,630	3,007	4,623	11,878	5,478	6,400	55.7	82.2	38.4
70～74歳	6,890	2,007	4,883	9,205	3,381	5,824	33.6	68.5	19.3
75～79歳	6,657	1,453	5,204	9,212	2,626	6,586	38.4	80.7	26.6
80～84歳	5,415	1,008	4,407	8,724	2,112	6,612	61.1	109.5	50.0
85歳以上	3,875	763	3,112	6,016	1,192	4,824	55.3	56.2	55.0

表13 夫婦とも65歳以上の高齢夫婦世帯数—平成22年・平成27年

（単位：世帯，％）

妻の年齢 夫の年齢		平成22年			平成27年			増減率		
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	65～74歳	75～84歳	85歳以上	65～74歳	75～84歳	85歳以上
総数		19,286	9,205	798	23,439	11,213	1,401	21.5	21.8	75.6
65～74歳		13,430	611	5	17,048	656	21	26.9	7.4	320.0
75～84歳		5,778	7,065	128	6,311	8,287	192	9.2	17.3	50.0
85歳以上		78	1,529	665	80	2,270	1,188	2.6	48.5	78.6



## 6 住居の状況

### (1)住宅の所有関係

- ▶ 「持ち家」の割合は 48%，わずかに低下
- ▶ 「民営の借家」の割合は 43.4%に 1.1 ポイント上昇

住宅に住む一般世帯数 49 万 1762 世帯を住宅の所有関係別にみると、「持ち家」は 23 万 5969 世帯（住宅に住む一般世帯の 48%）と最も多く、次いで「民営の借家」が 21 万 3631 世帯（同 43.4%）で、この 2 つで住宅に住む一般世帯の 91.4%を占めています。

平成 22 年と比べると、「持ち家」は 1 万 1202 世帯（5%）の増加となったものの、総数に占める割合は 0.1 ポイント低下しました。一方、「民営の借家」は 1 万 8987 世帯（9.8%）増加し、総数に占める割合も 43.4%と 1.1 ポイント高くなっています。（図 13，表 14）

図 13 住宅に住む一般世帯数の割合〔所有関係別〕－平成 27 年

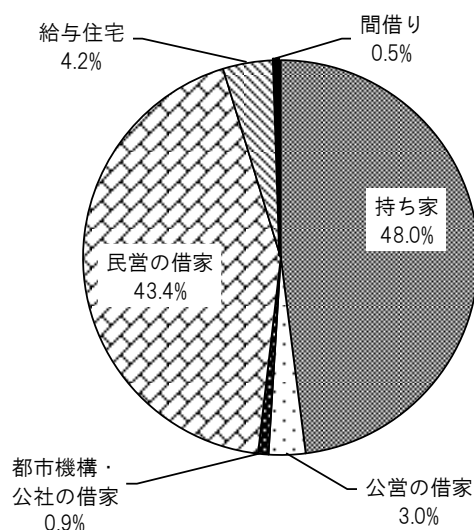


表 14 住宅に住む一般世帯数の推移〔所有関係別〕－平成 17 年～平成 27 年

年 別	総 数	持 ち 家	公 営 の 借 家	都 市 機 構 ・ 公 社 の 借 家	民 営 の 借 家	給 与 住 宅	間 借 り
		実 数 (世帯)					
平成 17 年	428,612	209,626	12,871	4,574	178,180	19,476	3,885
平成 22 年	460,105	224,767	12,288	4,379	194,644	19,480	4,547
平成 27 年	491,762	235,969	14,779	4,182	213,631	20,640	2,561
		構 成 比 (%)					
平成 17 年	100.0	48.9	3.0	1.1	41.6	4.5	0.9
平成 22 年	100.0	48.9	2.7	1.0	42.3	4.2	1.0
平成 27 年	100.0	48.0	3.0	0.9	43.4	4.2	0.5

## (2)住宅の建て方

- ▶「共同住宅」が最も多く、住宅に住む一般世帯の60%を超える
- ▶「一戸建て」は世帯数は増加したものの、割合は38.6%に低下

住宅に住む一般世帯数を住宅の建て方別にみると、「共同住宅」が29万6533世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の60.3%を占めています。次いで、「一戸建て」は18万9951世帯（同38.6%）、「長屋建」が4572世帯（0.9%）などとなっています。

平成22年と比べて、「共同住宅」は2万8666世帯（10.7%）増加し、総数に占める割合も2.1ポイント上昇しています。一方、「一戸建て」は3222世帯（1.7%）の増加となったものの、総数に占める割合は2ポイント低下しています。（図14、表15）

図14 住宅に住む一般世帯数の割合〔建て方別〕－平成27年

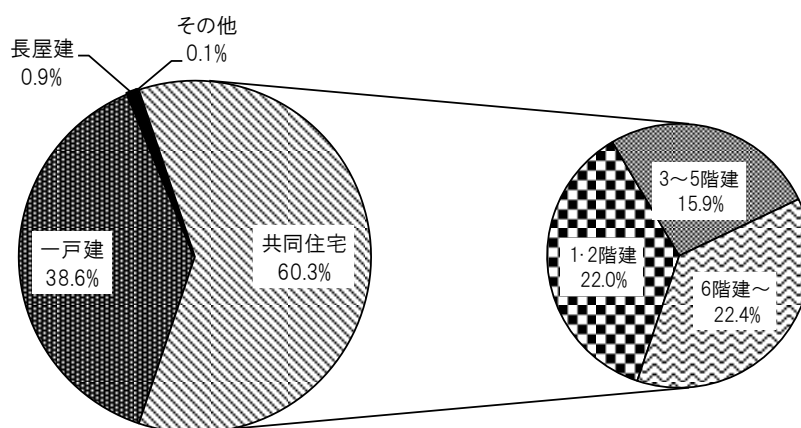


表15 住宅に住む一般世帯数の推移〔所有関係別〕－平成17年～平成27年

年 別	総 数	一 戸 建	長 屋 建	共 同 住 宅				そ の 他
				総 数	1・2階建	3～5	6階建～	
実 数 (世帯)								
平成17年	428,612	180,795	5,641	241,632	94,945	69,891	76,796	544
平成22年	460,105	186,729	4,962	267,867	95,766	72,836	99,265	537
平成27年	491,762	189,951	4,572	296,533	107,956	78,278	110,299	706
構 成 比 (%)								
平成17年	100.0	42.2	1.3	56.4	22.2	16.3	17.9	0.1
平成22年	100.0	40.6	1.1	58.2	20.8	15.8	21.6	0.1
平成27年	100.0	38.6	0.9	60.3	22.0	15.9	22.4	0.1

\*平成22年の総数には、住宅の建て方「不詳」を含む。

\*平成22年の構成比は、住宅の建て方「不詳」を含めて算出している。

## 7 区別の状況

- ▶ 人口・世帯数とも増加率が最も高いのは青葉区
- ▶ 年少人口の割合が高いのは宮城野区，老年人口の割合が高いのは泉区
- ▶ 未婚率は男女とも青葉区が最も高く，有配偶率は男女とも泉区が最も高い
- ▶ 単身世帯，高齢者単身者数の割合は青葉区が最も高い
- ▶ 持ち家，一戸建ての割合が高いのは泉区，借家，共同住宅の割合が高いのは宮城野区

主要指標を区別にみてみます。

### (1) 人口及び世帯数

人口は青葉区が 31 万 183 人で最も多く，次いで太白区 22 万 6855 人，泉区 21 万 6798 人，宮城野区 19 万 4825 人，若林区 13 万 3498 人の順となっています。平成 22 年と比べると，全ての区で人口は増加しており，増加率の高い順に青葉区 6.4%，太白区 2.8%，泉区 2.7%，宮城野区 2.3%，若林区 0.9%となっています。人口の多い区ほど，人口増加率は高くなっています。

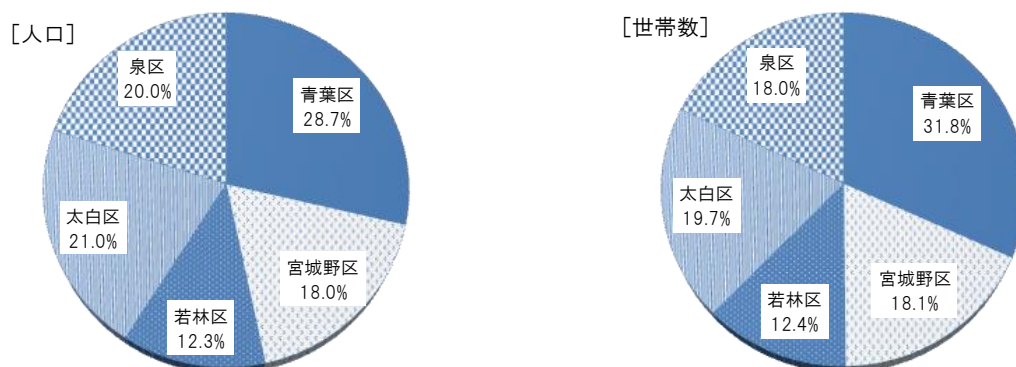
世帯数は青葉区が 15 万 8562 世帯で最も多く，次いで太白区 9 万 8456 世帯，宮城野区 9 万 166 世帯，泉区 8 万 9806 世帯，若林区 6 万 1963 世帯の順となっています。平成 22 年と比べると，世帯数も全ての区で増加しており，増加率の高い順に青葉区 10%，太白区 7.6%，泉区 5.9%，若林区 5.2%，宮城野区 4.9%となっています。

人口密度をみると，最も高いのは宮城野区で 3348.1 人/km<sup>2</sup>，最も低いのは太白区で 993.3 人/km<sup>2</sup>となっています。人口集中地区の人口密度では，青葉区が 7643.8 人/km<sup>2</sup>で最も高く，最も低いのは宮城野区で 5491.5 人/km<sup>2</sup>となっています。(表 16，図 15)

表 16 区別人口及び世帯数—平成 22 年・平成 27 年

区 別	人 口			世 帯 数	平 成 22 年 ～ 27 年				面 積	人口密度
	総 数	男	女		人 口		世 帯 数			
					増 加 数	増 加 率	増 加 数	増 加 率		
	人	人	人	世帯	人	%	世帯	%	km <sup>2</sup>	人/km <sup>2</sup>
全 市	1,082,159	527,170	554,989	498,953	36,173	3.5	33,693	7.2	786.30	1,376.3
青 葉 区	310,183	150,535	159,648	158,562	18,747	6.4	14,437	10.0	302.24	1,026.3
宮 城 野 区	194,825	95,651	99,174	90,166	4,352	2.3	4,241	4.9	58.19	3,348.1
若 林 区	133,498	66,926	66,572	61,963	1,192	0.9	3,049	5.2	50.86	2,624.8
太 白 区	226,855	109,310	117,545	98,456	6,267	2.8	6,930	7.6	228.39	993.3
泉 区	216,798	104,748	112,050	89,806	5,615	2.7	5,036	5.9	146.61	1,478.7
(人口集中地区)										
全 市	1,001,882	488,579	513,303	470,854	70,205	7.5	43,968	10.3	149.10	6,719.5
青 葉 区	282,363	137,176	145,187	148,728	24,446	9.5	15,931	12.0	36.94	7,643.8
宮 城 野 区	185,503	90,988	94,515	86,896	11,835	6.8	6,953	8.7	33.78	5,491.5
若 林 区	127,601	64,128	63,473	60,124	4,245	3.4	3,710	6.6	18.58	6,867.7
太 白 区	213,062	102,767	110,295	93,455	8,050	3.9	7,393	8.6	30.03	7,095.0
泉 区	193,353	93,520	99,833	81,651	21,629	12.6	9,981	13.9	29.77	6,494.9

図 15 区別人口及び世帯数の構成比—平成 27 年



(2) 年齢別人口

年齢(3区分)別人口の割合を区別にみると、15歳未満の年少人口の割合は宮城野区が13.3%で最も高く、次いで太白区13.1%、泉区12.9%、若林区12.2%と続き、青葉区が11.3%と最も低くなっています。

一方、65歳以上の老年人口の割合が最も高いのは泉区で23.8%、次いで太白区23.7%、若林区22.3%、青葉区21.9%と続き、宮城野区が21.1%で最も低くなっています。

また、15～64歳の生産年齢人口の割合は青葉区が66.8%で最も高く、次いで宮城野区65.7%、若林区65.5%、泉区63.3%と続き、太白区が63.2%で最も低くなっています。

次に、各区の平均年齢をみると、泉区が45歳で最も高く、以下、太白区44.8歳、若林区44.5歳、青葉区43.9歳と続き、宮城野区が43.4歳で最も低くなっています。(表17、図16)

表 17 区別、年齢(3区分)別人口—平成 27 年

区	実 数 (人)					割 合 (%)			平均年齢 (歳)
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	年齢不詳	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
青 葉 区	310,183	34,108	201,756	66,000	8,319	11.3	66.8	21.9	43.9
宮 城 野 区	194,825	24,068	119,324	38,249	13,184	13.3	65.7	21.1	43.4
若 林 区	133,498	15,378	82,670	28,215	7,235	12.2	65.5	22.3	44.5
太 白 区	226,855	28,991	140,306	52,659	4,899	13.1	63.2	23.7	44.8
泉 区	216,798	26,764	130,817	49,237	9,980	12.9	63.3	23.8	45.0

\*年齢別割合は年齢不詳を除いて算出している。

図 16 区別、年齢(3区分)別人口割合—平成 27 年

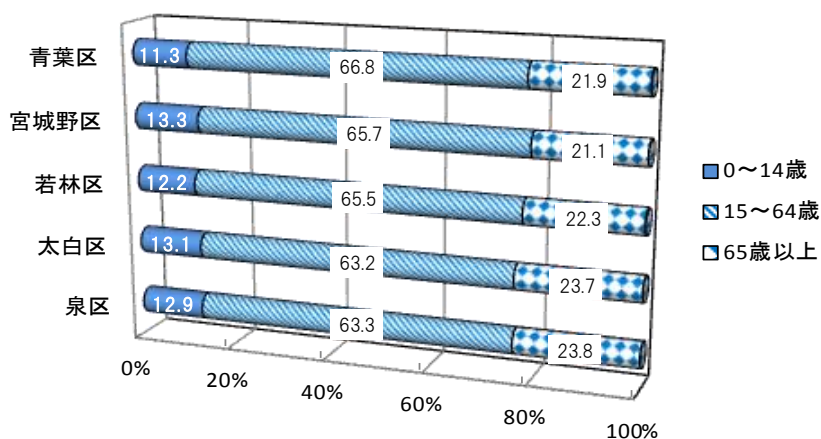
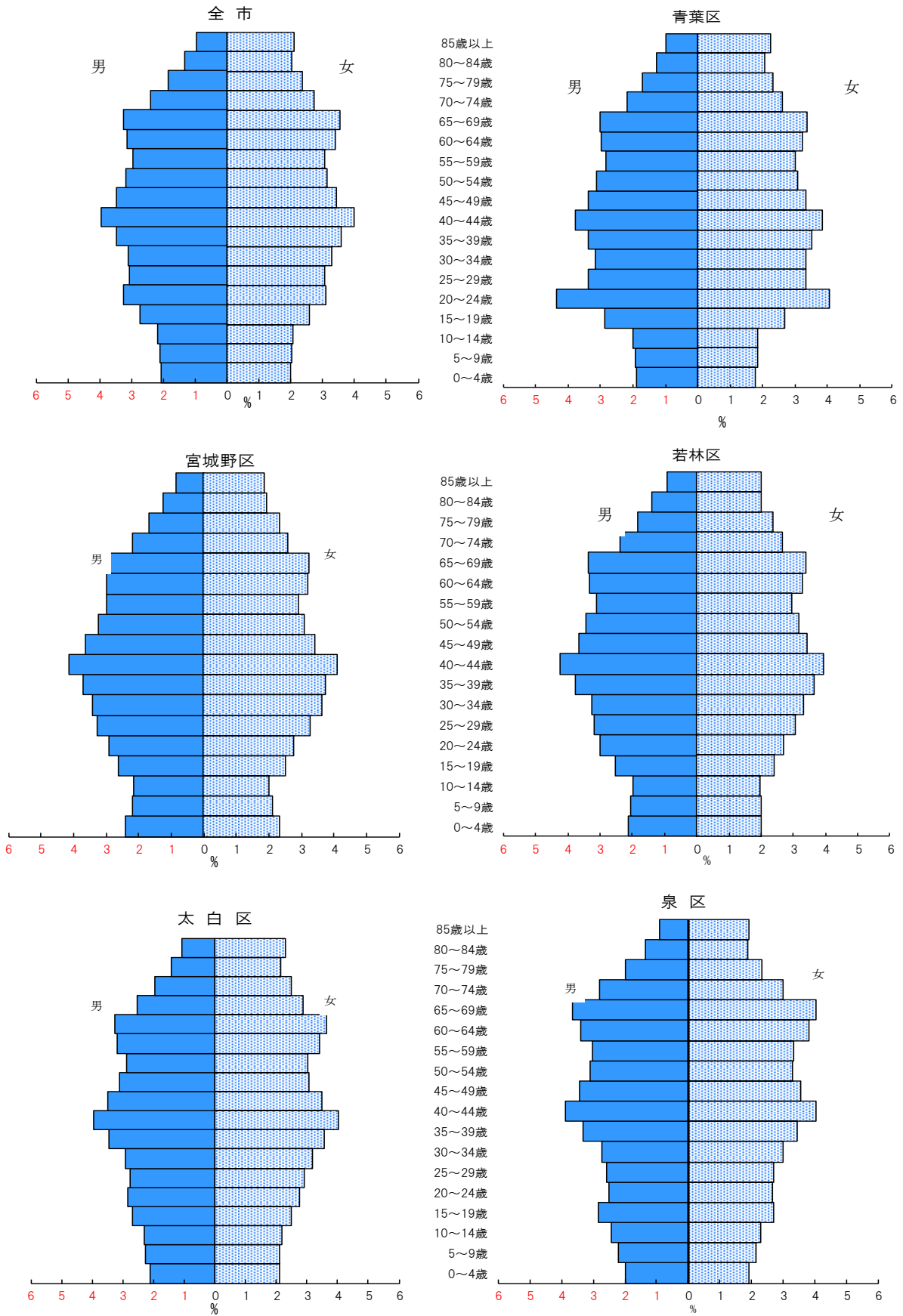


図 17 区別人口ピラミッドー平成 27 年



(3) 配偶関係別人口

各区の配偶関係別割合をみると、未婚率は男女とも青葉区が最も高く、男性は38.6%、女性は33.2%となっています。一方、有配偶率は男女とも泉区が最も高く、男性は65%、女性は59.3%となっています。

25～39歳の5歳階級別の未婚率をみても、男女ともに各階級で青葉区が最も高くなっています。最も未婚率が低いのは、男性は各階級で宮城野区、女性は25～29歳、30～34歳では宮城野区、35～39歳では太白区となっています。(表18, 図18-1, 18-2)

表18 区, 男女別15歳以上人口の配偶関係別割合—平成27年

(単位: %)

区	男							女						
	未婚	25～29歳	30～34歳	35～39歳	有配偶	死別	別離	未婚	25～29歳	30～34歳	35～39歳	有配偶	死別	別離
青葉区	38.6	77.7	50.2	35.5	55.3	2.5	3.6	33.2	70.7	44.5	30.0	49.3	11.4	6.2
宮城野区	33.8	67.5	39.6	30.2	59.0	2.8	4.4	27.5	58.3	33.7	25.5	53.8	11.3	7.5
若林区	34.4	73.1	45.1	34.4	57.8	2.7	5.0	27.9	63.1	37.1	27.6	53.9	11.8	6.4
太白区	32.4	69.4	42.1	32.6	60.9	3.0	3.7	25.6	62.9	35.3	24.3	55.6	12.6	6.2
泉区	29.5	75.5	46.4	32.4	65.0	2.6	2.9	24.6	68.5	38.6	24.6	59.3	11.2	5.0

\*年齢別割合は年齢不詳を除いて算出している。

\*配偶関係「不詳」があるため、各項目の合計は100とはならない。

図18-1 区, 男女別15歳以上人口における未婚率及び有配偶率—平成27年

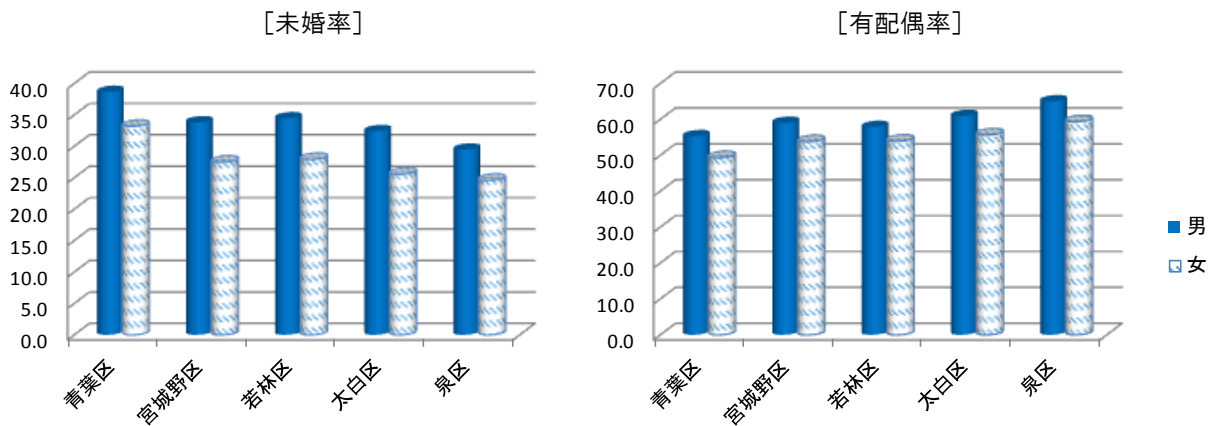
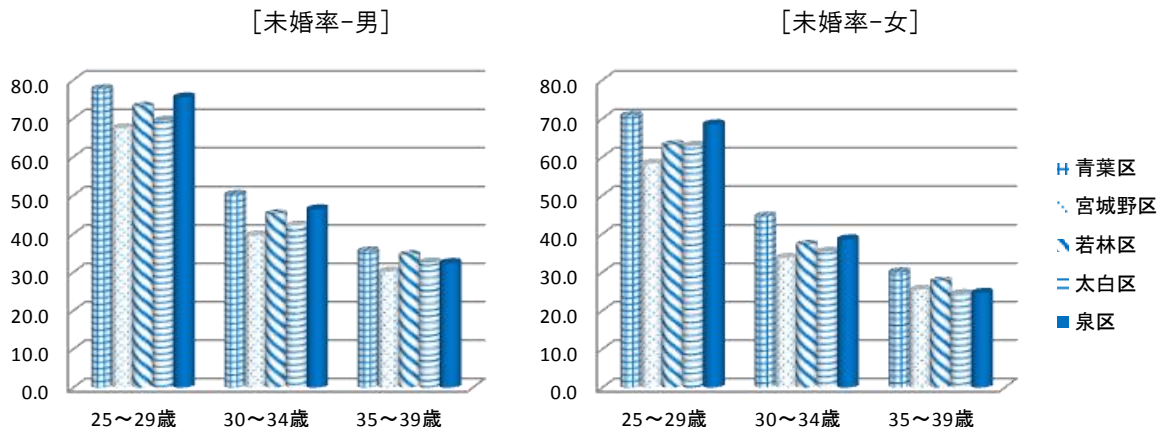


図18-2 区, 男女, 年齢階級(25～39歳5歳階級)別未婚率—平成27年



#### (4) 世帯・住居に関する主要項目比較

世帯及び住居に関する主要項目を区別に比較してみます。

核家族世帯の割合が最も高いのは泉区で57.8%、最も低いのは青葉区で41.4%となっており、単身世帯の割合では、最も高いのは青葉区で52.4%、最も低いのが泉区で31.7%となっています。

高齢単身者の割合は宮城野区が23.6%で最も高く、泉区が12.6%で最も低くなっています。

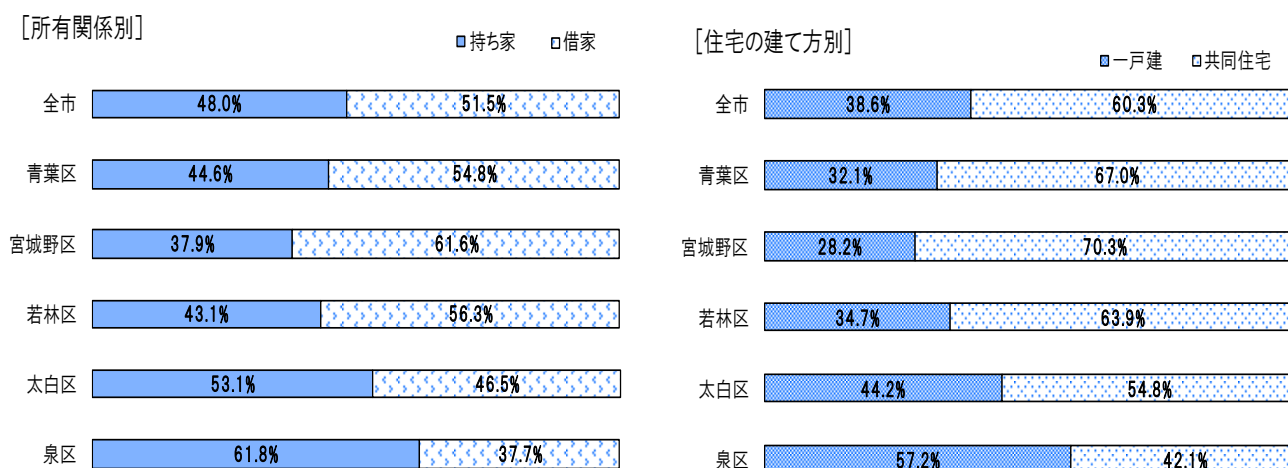
住居の所有の関係では、持ち家居住世帯の割合が最も高いのは泉区で61.8%、最も低いのは宮城野区で37.9%となっています。また、住居の建て方別をみると、一戸建ての割合が最も高いのは泉区で57.2%、最も低いのは宮城野区で28.2%となっています。(表19、図19)

表19 各区の世帯・住居に関する主要項目比較—平成27年

区別	(単位：%)						
	核家族世帯	単身世帯	高齢単身者	持ち家居住世帯	借家居住世帯	一戸建世帯	共同住宅
全市	48.3	43.2	19.2	48.0	51.5	38.6	60.3
青葉区	41.4	52.4	23.1	44.6	54.8	32.1	67.0
宮城野区	46.6	44.0	23.6	37.9	61.6	28.2	70.3
若林区	45.8	44.3	20.5	43.1	56.3	34.7	63.9
太白区	53.9	37.4	16.6	53.1	46.5	44.2	54.8
泉区	57.8	31.7	12.6	61.8	37.7	57.2	42.1

\* 核家族世帯・単身世帯は、一般世帯数に対する割合。高齢単身者は65歳以上人口に対する割合。  
持ち家居住世帯・借家居住世帯・一戸建世帯・共同住宅世帯割合は、住宅に住む一般世帯数に対する割合。

図19 住宅の状況（所有関係別及び建て方別割合）—平成27年

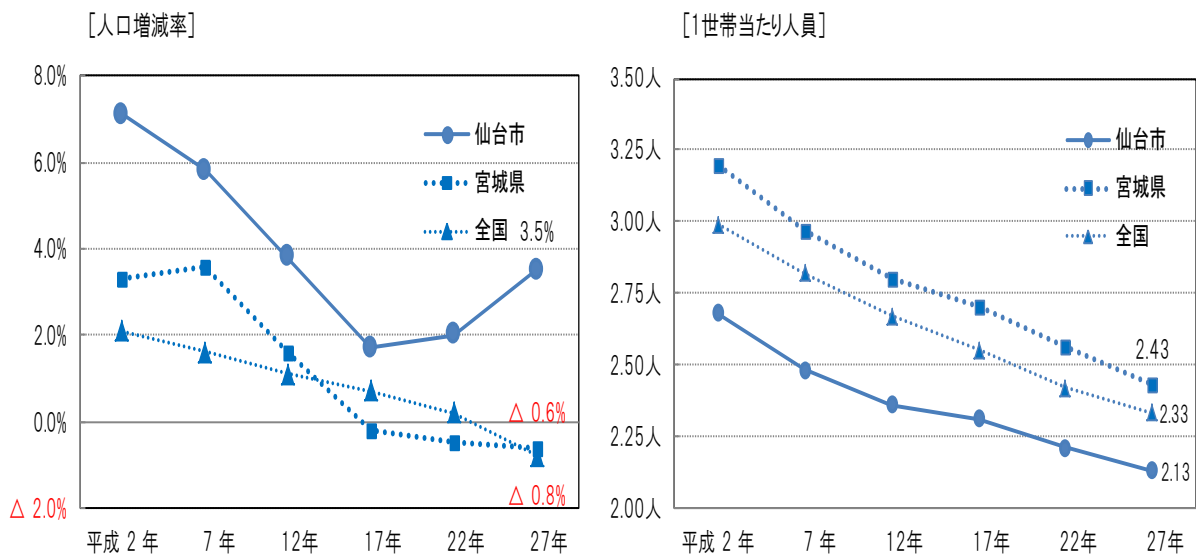


## 8 主要指標における宮城県及び全国との比較

平成 27 年国勢調査の仙台市の結果を宮城県及び全国と比較すると、次のような特徴がみられます。(図 20, 表 20)

- (1) 人口の対前回増減率をみると、全国は $\Delta 0.8\%$ となり、大正 9 年の調査開始以来初めての人口減少、また、宮城県は $\Delta 0.6\%$ で、平成 17 年の調査以降、人口減少が続いていますが、仙台市の人口増減率は 3.5%となり、引き続き人口増加となっています。
- (2) 世帯数の対前回増減率は、全国の 2.9%、宮城県の 4.8%を上回る 7.2%増となっています。
- (3) 人口の年齢別構成をみると、仙台市は生産年齢人口の割合(65%)が全国(60.7%)及び宮城県(61.7%)より高く、一方、仙台市の年少人口の割合(12.5%)及び老年人口の割合(22.6%)ではいずれも全国及び宮城県のそれぞれを下回っています。また、平均年齢も全国の 46.4 歳、宮城県の 46.2 歳を下回り、仙台市は 44.3 歳となっています。
- (4) 外国人割合は、仙台市は 0.8%で、宮城県の 0.6%を上回っているものの、全国の 1.4%よりは下回っています。
- (5) 未婚率については、仙台市は男女共に全国及び宮城県を上回っています。年齢 5 歳階級別の 20~39 歳をみると、女性は各階級で全国及び宮城県を上回っていますが、男性は 20 歳代では全国及び宮城県を上回っているものの、30 歳代では全国及び宮城県を下回っています。
- (6) 一般世帯における平均世帯人員では、仙台市は 2.13 人となっており、宮城県の 2.43 人、全国の 2.33 人を下回っています。一方、仙台市における単独世帯の割合 43.2%と 65 歳以上人口に占める高齢単身者の割合 19.2%は、どちらも宮城県及び全国のそれを上回っており、単独世帯の割合では、9 ポイント近くの差となっています。
- (7) 住宅に住む一般世帯のうち、持ち家を持つ世帯の割合をみると、全国は 62.3%、宮城県は 58.8%で、仙台市はそれらを下回る 48%となっています。
- (8) 住宅に住む一般世帯を住宅の建て方別にみると、全国及び宮城県では「一戸建て」の割合が「共同住宅」の割合を上回っていますが、仙台市では「共同住宅」の割合が 60.3%と、「一戸建て」の割合の 38.6%を上回っています。

図 20 人口増減率の推移及び一般世帯における平均世帯人員の推移  
—仙台市, 宮城県, 全国(平成 2 年~平成 27 年)





## 9 主要指標における他の大都市との比較

全国の21大都市（政令指定都市及び東京都区部）における主要指標を比較して、仙台市の状況を見てみます。（表20）

(1) 総人口をみると、15都市で前回調査より増加しており、対前回増加率が最も高いのは福岡市で5.1%、次いで東京都区部3.7%、川崎市3.5%と続き、仙台市は3.5%で4番目となっています。

(2) 世帯数をみると、全ての都市で前回調査より増加しており、対前回増加率は福岡市が8.1%と最も高く、仙台市が7.2%と続いています。

(3) 人口の年齢別構成をみると、年少人口の割合が最も高いのは広島市で14.2%、最も低いのは東京都区部で11%となっており、仙台市は12.5%で13位です。

また、老年人口の割合は北九州市が29.3%と最も高く、仙台市は22.6%で18位、最も低いのは川崎市で19.5%となっています。

一方、生産年齢人口の割合は、川崎市が67.7%と最も高く、次いで東京都区部67%、福岡市66%、仙台市が65%と続き、最も低いのは北九州市で58.1%となっています。

(4) 総人口に占める外国人の割合は、最も高いのは東京都区部で3.4%、最も低いのは札幌市で0.5%となっています。仙台市は0.8%で18番目となっています。

(5) 未婚率をみると、男性では川崎市が38%と最も高く、堺市が30.5%で最も低くなっています。仙台市は34.1%で9番目となっています。一方、女性では福岡市が31.3%と最も高く、仙台市は28.2%と5番目、最も低いのは浜松市で20.8%となっています。

(6) 一般世帯における平均世帯人員をみると、最も多いのは浜松市で2.53人、仙台市は2.13人で15番目、最も少ないのは東京都区部で1.91人となっています。

また、一般世帯数における単独世帯の割合では、東京都区部が50.6%と最も高く、福岡市が49.7%と続き、仙台市は43.2%で5番目、最も低いのは浜松市で29.7%となっています。

(7) 一般世帯における高齢単身者について、65歳以上人口に占める割合をみると、最も高いのは大阪市で30.1%、次いで東京都区部27%、福岡市25.6%などと続き、仙台市は19.2%で14番目、最も低いのは浜松市で13.1%となっています。

(8) 住宅に住む一般世帯数を所有の関係で見ると、持ち家の割合は新潟市が66%と最も高く、次いで浜松市64.7%、静岡市63.6%などと続き、仙台市は48%で18番目と低く、最も低いのは福岡市で37.5%となっています。

また、建て方別で見ると、共同住宅の割合が最も高いのは福岡市で76.9%、仙台市は60.3%で9番目となっています。なお、21都市中、新潟市、静岡市、浜松市及び岡山市を除く17都市は、共同住宅の割合が一戸建ての割合を上回っています。

また、主要指標の大都市平均の値（割合）を100としたときの、仙台市の指数をグラフで表すと次のようになります。（主要指標のうち、一部のみ）（図21）

図21 主要指標の大都市平均と仙台市の比較（大都市平均=100）

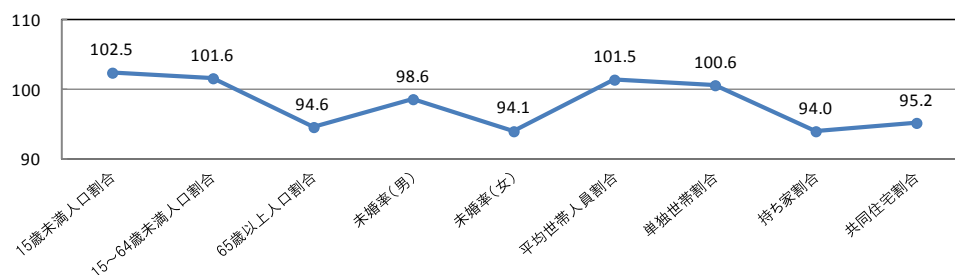


表20 主要指標の比較—21大都市，

主要指標		仙台市	札幌市	さいたま市	千葉市	東京都区部	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市	静岡市
総人口	(人)	1,082,159	1,952,356	1,263,979	971,882	9,272,740	1,475,213	3,724,844	720,780	810,157	704,989
人口の対前回増減率	(%)	3.5	2.0	3.4	1.1	3.7	3.5	1.0	0.5	△0.2	△1.6
世帯数	(世帯)	498,953	921,837	533,209	417,857	4,801,194	691,837	1,645,618	311,188	321,511	286,013
世帯数の対前回増減率	(%)	7.2	4.1	6.0	2.8	5.7	4.4	3.9	2.8	2.9	2.5
人口の年齢別構成	15歳未満	(%)	12.5	11.4	13.2	12.7	11.0	12.8	12.7	12.4	12.2
	15～64歳	(%)	65.0	63.7	64.0	62.4	67.0	67.7	64.0	63.6	60.8
	65歳以上	(%)	22.6	24.9	22.8	24.9	22.0	19.5	23.4	23.9	27.0
平均年齢	(歳)	44.3	46.2	44.3	45.4	44.5	42.8	44.9	44.8	46.8	47.5
外国人割合	(%)	0.8	0.5	1.1	1.7	3.4	1.7	1.8	1.3	0.5	1.0
未婚率	男	(%)	34.1	32.5	33.6	33.2	37.2	38.0	34.8	35.1	31.7
	女	(%)	28.2	27.5	25.0	24.4	30.8	27.9	25.5	25.3	23.7
20～24歳	男	(%)	96.5	95.8	97.1	95.1	97.1	97.0	96.9	96.1	96.1
	女	(%)	94.2	92.8	94.3	91.6	94.7	94.0	94.0	92.7	93.5
25～29歳	男	(%)	73.1	73.0	75.1	74.3	77.8	76.9	77.2	75.5	72.5
	女	(%)	65.4	66.6	64.3	62.2	68.3	64.9	65.7	63.6	62.6
30～34歳	男	(%)	45.1	48.5	46.1	47.6	50.1	49.5	49.3	50.5	46.2
	女	(%)	38.5	41.9	33.7	35.3	40.2	35.8	35.3	36.0	35.6
35～39歳	男	(%)	33.1	36.4	33.1	37.1	36.8	35.5	36.3	38.3	34.8
	女	(%)	26.6	30.4	21.7	24.2	29.2	23.5	23.7	24.2	24.8
一般	平均世帯人員	(人)	2.13	2.06	2.34	2.29	1.91	2.11	2.24	2.28	2.46
	単独世帯割合	(%)	43.2	40.8	33.5	33.6	50.6	42.7	35.9	35.5	32.4
	65歳以上人口に占める高齢単身者の割合	(%)	19.2	21.6	17.3	18.4	27.0	20.7	19.7	17.1	13.6
世帯	うち住宅に住む	持ち家割合	(%)	48.0	49.0	62.2	61.1	45.1	49.3	60.4	61.0
		一戸建割合	(%)	38.6	35.2	46.7	40.3	25.6	26.6	37.9	47.9
		共同住宅割合	(%)	60.3	63.5	52.1	58.4	73.4	72.2	60.5	50.8

\*人口の年齢別構成及び未婚率は、年齢「不詳」を除いて算出

全国，宮城県（平成27年）

浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市	全国	宮城県
797,980	2,295,638	1,475,183	2,691,185	839,310	1,537,272	719,474	1,194,034	961,286	1,538,681	740,822	127,094,745	2,333,899
△ 0.4	1.4	0.1	1.0	△ 0.3	△ 0.4	1.4	1.7	△ 1.6	5.1	0.9	△ 0.8	△ 0.6
309,227	1,058,497	705,874	1,354,793	350,301	705,459	309,409	531,605	426,325	764,820	315,456	53,448,685	944,720
2.9	3.6	3.6	2.8	1.7	3.1	4.3	3.6	1.3	8.1	4.3	2.9	4.8
13.6	12.5	11.3	11.2	13.6	12.2	13.7	14.2	12.6	13.3	14.1	12.6	12.5
60.0	63.3	62.0	63.6	59.5	60.7	61.5	62.1	58.1	66.0	61.7	60.7	61.7
26.4	24.2	26.7	25.3	26.9	27.1	24.7	23.7	29.3	20.7	24.2	26.6	25.7
46.2	45.0	45.9	45.8	45.8	46.6	44.7	44.4	47.5	43.1	44.8	46.4	46.2
2.1	2.4	2.3	3.0	1.3	2.3	1.2	1.2	1.0	1.5	0.5	1.4	0.6
31.1	34.9	36.1	35.6	30.5	31.5	32.0	30.6	30.5	34.7	31.5	31.8	31.9
20.8	26.0	30.0	29.3	23.7	26.1	25.1	24.5	23.4	31.3	26.5	23.2	23.3
94.8	96.3	97.1	93.2	94.3	96.0	95.3	94.4	93.4	96.0	94.4	95.0	95.1
90.2	92.6	95.2	89.3	90.6	93.6	92.2	91.3	89.7	93.7	91.8	91.4	91.5
71.2	74.9	77.7	70.9	69.9	74.3	69.5	68.9	68.1	72.8	69.0	72.7	72.0
56.0	62.3	70.1	63.0	59.4	67.0	61.0	59.4	58.5	68.0	61.6	61.3	61.4
44.0	48.0	51.0	46.3	43.1	46.5	43.8	42.3	44.1	44.8	42.5	47.1	46.5
28.6	34.6	43.3	40.2	33.7	39.7	34.5	32.8	34.9	42.1	35.7	34.6	35.3
33.4	36.0	37.4	35.3	31.7	33.7	31.7	31.4	32.9	32.2	30.8	35.0	34.5
19.2	24.7	31.0	30.3	24.2	27.9	23.2	23.8	25.6	29.8	25.2	23.9	24.0
2.53	2.13	2.05	1.96	2.35	2.14	2.27	2.21	2.19	1.97	2.29	2.33	2.43
29.7	42.2	45.3	48.6	31.7	39.8	37.9	37.9	37.0	49.7	36.7	34.5	34.4
13.1	22.0	22.6	30.1	20.6	24.3	18.1	20.4	22.0	25.6	19.3	17.7	14.5
64.7	48.2	53.7	44.0	60.1	57.6	56.5	53.3	55.4	37.5	51.7	62.3	58.8
63.6	33.6	44.5	25.9	47.2	36.2	55.3	42.4	44.9	22.2	48.0	55.2	56.0
34.1	64.5	52.8	70.8	49.8	61.8	42.5	55.6	52.9	76.9	50.8	42.7	41.3



# 統計表

第 1 表 平成 27 年国勢調査人口等基本集計 主要統計表  
— 仙台市・区，大都市，全国及び宮城県 —

第 2 表 年齢（5 歳階級），男女別人口，年齢別割合 — 仙台市・区

第1表 平成27年国勢調査人口等基本集計

【仙台市・区】

地 域	人 口			平成22年 組替人口 (人)	平成22年～27年の 人口増減		面 積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	平均年齢 (歳)	年齢 中位数 (歳)	人口性比 (女100人に つき男)	国 籍	
	総数 (人)	男 (人)	女 (人)		増減数 (人)	増減率 (%)						日 本 人 (人)	外 国 人 (人)
仙 台 市	1,082,159	527,170	554,989	1,045,986	36,173	3.5	786.30	1376.3	44.3	43.9	95.0	1,047,815	8,898
青 葉 区	310,183	150,535	159,648	291,436	18,747	6.4	302.24	1026.3	43.9	42.9	94.3	299,022	4,891
宮 城 野 区	194,825	95,651	99,174	190,473	4,352	2.3	58.19	3348.1	43.4	42.9	96.4	190,144	1,297
若 林 区	133,498	66,926	66,572	132,306	1,192	0.9	50.86	2624.8	44.5	44.2	100.5	127,023	747
太 白 区	226,855	109,310	117,545	220,588	6,267	2.8	228.39	993.3	44.8	44.6	93.0	221,622	1,126
泉 区	216,798	104,748	112,050	211,183	5,615	2.7	146.61	1478.7	45.0	45.5	93.5	210,004	837

【大都市, 全国及び宮城県】

札 幌 市	1,952,356	910,614	1,041,742	1,913,545	38,811	2.0	1121.26	1741.2	46.2	46.4	87.4126	1,937,785	8,820
さいたま市	1,263,979	627,238	636,741	1,222,434	41,545	3.4	217.43	5813.3	44.3	44.4	98.5076	1,231,350	13,776
千 葉 市	971,882	482,840	489,042	961,749	10,133	1.1	271.76	3576.3	45.4	45.6	98.7318	940,070	16,506
特別区部	9,272,740	4,567,247	4,705,493	8,945,695	327,045	3.7	626.70	14796.1	44.5	43.5	97.062	8,836,254	318,457
川 崎 市	1,475,213	749,038	726,175	1,425,512	49,701	3.5	143.00	10316.2	42.8	42.2	103.148	1,417,032	25,086
横 浜 市	3,724,844	1,855,985	1,868,859	3,688,773	36,071	1.0	437.49	8514.1	44.9	45.0	99.3111	3,623,330	68,325
相 模 原 市	720,780	361,060	359,720	717,515	3,265	0.5	328.66	2193.1	44.8	44.9	100.373	702,664	9,617
新 潟 市	810,157	389,512	420,645	811,901	△ 1,744	△ 0.2	726.45	1115.2	46.8	47.2	92.5987	804,275	4,062
静 岡 市	704,989	343,338	361,651	716,197	△ 11,208	△ 1.6	1411.90	499.3	47.5	48.2	94.9363	696,609	6,986
浜 松 市	797,980	395,509	402,471	800,866	△ 2,886	△ 0.4	1558.06	512.2	46.2	46.5	98.2702	775,380	16,439
名 古 屋 市	2,295,638	1,133,640	1,161,998	2,263,894	31,744	1.4	326.45	7032.1	45.0	44.7	97.5595	2,213,811	56,212
京 都 市	1,475,183	699,748	775,435	1,474,015	1,168	0.1	827.83	1782.0	45.9	45.6	90.2394	1,412,924	34,608
大 阪 市	2,691,185	1,302,562	1,388,623	2,665,314	25,871	1.0	225.21	11949.7	45.8	45.2	93.8024	2,497,380	79,568
堺 市	839,310	402,379	436,931	841,966	△ 2,656	△ 0.3	149.82	5602.1	45.8	45.8	92.0921	822,849	10,589
神 戸 市	1,537,272	726,700	810,572	1,544,200	△ 6,928	△ 0.4	557.02	2759.8	46.6	47.0	89.6527	1,480,458	34,751
岡 山 市	719,474	345,913	373,561	709,584	9,890	1.4	789.96	910.8	44.7	44.2	92.5988	705,613	8,425
広 島 市	1,194,034	576,850	617,184	1,173,843	20,191	1.7	906.53	1317.1	44.4	44.4	93.4648	1,172,808	14,302
北 九 州 市	961,286	452,682	508,604	976,846	△ 15,560	△ 1.6	491.95	1954.0	47.5	48.5	89.0048	942,781	9,388
福 岡 市	1,538,681	726,666	812,015	1,463,743	74,938	5.1	343.39	4480.9	43.1	42.5	89.4892	1,478,656	23,662
熊 本 市	740,822	348,470	392,352	734,474	6,348	0.9	390.32	1898.0	44.8	44.8	88.8157	731,935	3,763
全 国	127,094,745	61,841,738	65,253,007	128,057,352	△ 962,607	△ 0.8	377,970.75	340.8	46.4	46.7	94.8	124,283,901	1,752,368
宮 城 県	2,333,899	1,140,167	1,193,732	2,348,165	△ 14,266	△ 0.6	7,282.22	320.5	46.2	46.7	95.5	2,291,508	13,989

注)総数には「不詳」を含むため、内訳を合計しても総数に一致しない。  
割合は、分母から不詳を除いて算出している。

# 主要統計表-仙台市・区, 大都市, 全国及び宮城県

世帯			平成22年組替 世帯総数 (世帯)	平成22年～27年の 世帯増減		一般世帯						地域	
世帯総数 (世帯)	一般世帯 (世帯)	施設等 の世帯 (世帯)		増減数 (世帯)	増減率 (%)	うち 核家族世帯 (世帯)	夫婦のみの世帯 (世帯)	夫婦と子ども から成る世帯 (世帯)	男親と子ども から成る世帯 (世帯)	女親と子ども から成る世帯 (世帯)	うち 単独世帯 (世帯)		65歳以上の 高齢単身者世帯 (世帯)
498,953	498,257	696	465,260	33,693	7.2	240,648	85,289	117,964	4,723	32,672	215,236	45,035	仙台市
158,562	158,257	305	144,125	14,437	10.0	65,458	24,040	30,779	1,219	9,420	82,941	15,247	青葉区
90,166	90,044	122	85,925	4,241	4.9	41,924	14,131	20,767	911	6,115	39,596	9,028	宮城野区
61,963	61,904	59	58,914	3,049	5.2	28,367	9,757	13,971	605	4,034	27,418	5,780	若林区
98,456	98,332	124	91,526	6,930	7.6	53,032	18,411	26,274	1,083	7,264	36,804	8,752	太白区
89,806	89,720	86	84,770	5,036	5.9	51,867	18,950	26,173	905	5,839	28,477	6,228	泉区
921,837	920,415	1,422	885,848	35,989	4.1	493,644	194,424	213,793	10,049	75,378	375,242	104,650	札幌市
533,209	532,462	747	503,126	30,083	6.0	320,436	104,675	172,527	7,005	36,229	178,245	49,225	さいたま市
417,857	416,827	1,030	406,309	11,548	2.8	251,089	87,724	127,522	5,649	30,194	140,014	43,847	千葉市
4,801,194	4,793,594	7,600	4,540,746	260,448	5.7	2,145,597	772,614	1,026,141	50,717	296,125	2,424,966	539,014	特別区部
691,837	689,886	1,951	662,694	29,143	4.4	351,736	119,855	184,855	7,404	39,622	294,648	57,959	川崎市
1,645,618	1,635,805	9,813	1,583,889	61,729	3.9	966,951	335,616	497,644	20,440	113,251	588,068	170,739	横浜市
311,188	310,833	355	302,802	8,386	2.8	180,796	61,877	92,198	4,502	22,219	110,236	29,305	相模原市
321,511	321,028	483	312,533	8,978	2.9	172,370	59,403	84,228	4,018	24,721	103,981	29,423	新潟市
286,013	285,626	387	279,019	6,994	2.5	162,045	57,622	76,957	4,056	23,410	89,061	31,233	静岡市
309,227	308,765	462	300,444	8,783	2.9	175,141	60,985	88,409	3,974	21,773	91,670	27,210	浜松市
1,058,497	1,056,929	1,568	1,021,227	37,270	3.6	540,668	191,086	263,935	11,814	73,833	446,311	119,907	名古屋市
705,874	705,142	732	681,581	24,293	3.6	339,598	120,308	159,514	8,008	51,768	319,562	86,310	京都市
1,354,793	1,352,413	2,380	1,317,990	36,803	2.8	608,983	217,696	269,051	16,605	105,631	657,205	201,070	大阪市
350,301	349,878	423	344,465	5,836	1.7	216,563	74,020	106,031	5,013	31,499	110,797	46,134	堺市
705,459	704,497	962	684,183	21,276	3.1	388,794	143,290	183,704	7,945	53,855	280,073	99,962	神戸市
309,409	308,807	602	296,790	12,619	4.3	165,013	57,384	81,820	3,458	22,351	117,015	31,743	岡山市
531,605	530,948	657	512,907	18,698	3.6	300,982	109,006	148,159	5,819	37,998	201,431	57,117	広島市
426,325	425,544	781	420,702	5,623	1.3	238,689	90,644	105,777	5,505	36,763	157,488	60,915	北九州市
764,820	763,824	996	707,358	57,462	8.1	348,959	118,091	170,154	6,775	53,939	379,499	80,032	福岡市
315,456	314,740	716	302,413	13,043	4.3	172,838	58,434	84,248	3,511	26,645	115,557	34,279	熊本市
53,448,685	53,331,797	116,888	51,950,504	1,498,181	2.9	29,754,438	10,718,259	14,288,203	702,903	4,045,073	18,417,922	5,927,686	全国
944,720	942,569	2,151	901,862	42,858	4.8	483,580	166,543	234,305	11,927	70,805	323,890	85,398	宮城県

第2表 年齢(5歳階級), 男女別

年齢区分	仙 台 市			青 葉 区			宮 城 野 区		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	1,082,159	527,170	554,989	310,183	150,535	159,648	194,825	95,651	99,174
0～4歳	42,369	21,610	20,759	11,107	5,691	5,416	8,634	4,401	4,233
5～9	43,016	21,931	21,085	11,396	5,819	5,577	7,835	3,959	3,876
10～14	43,924	22,579	21,345	11,605	5,997	5,608	7,599	3,938	3,661
15～19	55,128	28,332	26,796	16,730	8,641	8,089	9,310	4,743	4,567
20～24	66,127	33,762	32,365	25,517	13,205	12,312	10,347	5,301	5,046
25～29	63,647	31,643	32,004	20,314	10,180	10,134	11,946	5,979	5,967
30～34	66,259	32,051	34,208	19,691	9,578	10,113	12,847	6,216	6,631
35～39	73,375	36,185	37,190	20,935	10,244	10,691	13,541	6,719	6,822
40～44	82,644	41,171	41,473	23,107	11,460	11,647	15,022	7,522	7,500
45～49	71,928	36,205	35,723	20,324	10,204	10,120	12,808	6,615	6,193
50～54	65,551	32,899	32,652	18,759	9,424	9,335	11,512	5,860	5,652
55～59	62,245	30,551	31,694	17,648	8,525	9,123	10,725	5,447	5,278
60～64	67,969	32,750	35,219	18,731	8,999	9,732	11,266	5,440	5,826
65～69	70,537	33,652	36,885	19,288	9,058	10,230	11,460	5,543	5,917
70～74	53,523	25,002	28,521	14,488	6,607	7,881	8,680	3,963	4,717
75～79	43,638	19,048	24,590	12,216	5,192	7,024	7,324	3,091	4,233
80～84	34,912	13,861	21,051	10,193	3,884	6,309	5,852	2,298	3,554
85～89	20,611	7,175	13,436	6,331	2,164	4,167	3,166	1,130	2,036
90～94	8,694	2,202	6,492	2,681	649	2,032	1,394	339	1,055
95～99	2,114	437	1,677	697	148	549	322	64	258
100歳以上	331	57	274	106	14	92	51	9	42
年齢不詳	43,617	24,067	19,550	8,319	4,852	3,467	13,184	7,074	6,110
(再掲)									
15歳未満	129,309	66,120	63,189	34,108	17,507	16,601	24,068	12,298	11,770
15～64歳	674,873	335,549	339,324	201,756	100,460	101,296	119,324	59,842	59,482
65歳以上	234,360	101,434	132,926	66,000	27,716	38,284	38,249	16,437	21,812
年齢別割合(%)									
15歳未満	12.5	13.1	11.8	11.3	12.0	10.6	13.3	13.9	12.6
15～64歳	65.0	66.7	63.4	66.8	69.0	64.9	65.7	67.6	63.9
65歳以上	22.6	20.2	24.8	21.9	19.0	24.5	21.1	18.6	23.4

注)年齢別割合は、年齢「不詳」を除いて算出。



人口, 年齢別割合 - 仙台市・区

(単位：人)

若林区			太白区			泉区			年齢区分
総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
133,498	66,926	66,572	226,855	109,310	117,545	216,798	104,748	112,050	総数
5,218	2,667	2,551	9,362	4,720	4,642	8,048	4,131	3,917	0～4歳
5,136	2,577	2,559	9,646	5,001	4,645	9,003	4,575	4,428	5～9
5,024	2,506	2,518	9,983	5,144	4,839	9,713	4,994	4,719	10～14
6,235	3,170	3,065	11,445	5,933	5,512	11,408	5,845	5,563	15～19
7,190	3,773	3,417	12,383	6,275	6,108	10,690	5,208	5,482	20～24
7,905	4,038	3,867	12,577	6,097	6,480	10,905	5,349	5,556	25～29
8,315	4,115	4,200	13,606	6,505	7,101	11,800	5,637	6,163	30～34
9,353	4,733	4,620	15,593	7,638	7,955	13,953	6,851	7,102	35～39
10,345	5,338	5,007	17,749	8,801	8,948	16,421	8,050	8,371	40～44
8,929	4,602	4,327	15,449	7,703	7,746	14,418	7,081	7,337	45～49
8,379	4,346	4,033	13,706	6,857	6,849	13,195	6,412	6,783	50～54
7,663	3,929	3,734	13,112	6,406	6,706	13,097	6,244	6,853	55～59
8,356	4,182	4,174	14,686	7,092	7,594	14,930	7,037	7,893	60～64
8,548	4,242	4,306	15,344	7,253	8,091	15,897	7,556	8,341	65～69
6,381	3,020	3,361	12,016	5,636	6,380	11,958	5,776	6,182	70～74
5,311	2,296	3,015	9,879	4,347	5,532	8,908	4,122	4,786	75～79
4,295	1,737	2,558	7,920	3,162	4,758	6,652	2,780	3,872	80～84
2,457	854	1,603	4,920	1,691	3,229	3,737	1,336	2,401	85～89
968	254	714	2,040	541	1,499	1,611	419	1,192	90～94
218	45	173	470	103	367	407	77	330	95～99
37	4	33	70	18	52	67	12	55	100歳以上
7,235	4,498	2,737	4,899	2,387	2,512	9,980	5,256	4,724	年齢(不詳)
15,378	7,750	7,628	28,991	14,865	14,126	26,764	13,700	13,064	(再掲) 15歳未満
82,670	42,226	40,444	140,306	69,307	70,999	130,817	63,714	67,103	15～64歳
28,215	12,452	15,763	52,659	22,751	29,908	49,237	22,078	27,159	65歳以上
									年齢別割合(%)
12.2	12.4	11.9	13.1	13.9	12.3	12.9	13.8	12.2	15歳未満
65.5	67.6	63.4	63.2	64.8	61.7	63.3	64.0	62.5	15～64歳
22.3	19.9	24.7	23.7	21.3	26.0	23.8	22.2	25.3	65歳以上



統計時報 特集

平成28年12月発行

発行 仙台市

編集 仙台市市民局生活安全安心部広聴統計課

電話 022 (214) 1258 (直通)

<http://www.city.sendai.jp/>